Empowered by Innovation

パソコンの接続と準備はこの本で
インターネットをはじめる準備もここからスタート
これまで使っていたパソコンからデータをお引っ越し

はじめにお読みください

START

VALUESTAR

『はじめにお読みください』の読み方

『はじめにお読みください』では、パソコンが使えるようになるまでの手順を説明しています。このページを参考にして、『はじめにお読みください』を読み進めてください。

PART1　パソコンを接続する前に　およそ 10 分

梱包箱を開けたら、まず、『スタートシート』をご覧のうえ添付品を確認します。次に、パソコンの置き場所を決めます。パソコンの置き場所について、いくつかの注意事項を説明しています。

PART2　パソコンの接続をする　およそ 20 分

パソコンを使うときに必要なものを接続します。
接続を間違うとパソコンは正しく動いてくれません。ここをご覧になり、手順に従って正しく接続を行ってください。

PART3　電源を入れてパソコンを使えるようにする　およそ 30 ～ 40 分

Windows（ウィンドウズ）のセットアップを行います。
セットアップが終わると、いよいよパソコンが使えるようになります。
ここをご覧になり、確実に操作してください。

853-810601-157-A

セットアップが終わったら…

PART4　パソコンを使いはじめよう

セットアップが終わってからの進み方について説明しています。また、Windows（ウィンドウズ）操作の基本となる「デスクトップ」や「スタートメニュー」の使い方、パソコンの基本操作が学べる「パソコンのいろはII」の使い方、パソコン本体やキーボードの各部の名称と役割、CD-ROM（シーディーロム）の扱い方について説明しています。また、音量の調節のしかたについてもここで説明しています。

インターネットをはじめたくなったら…

付録　ここからはじめるインターネット＆メール

インターネットをはじめる前に必要な準備やインターネットが利用できるまでの流れを分かりやすく説明しています。これからインターネットをはじめたい方も、すでにインターネットを利用していてブロードバンドをはじめたいという方もまずはこちらをご覧ください。メールの設定のしかたやうまくインターネットにつながらないときの解決方法も説明しています。

パソコンを買い換えたら…

付録　パソコン引っ越しガイド

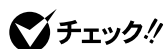
パソコンを買い換えたかたが、新しいパソコンを今までのパソコンと同じように使いはじめられるようにする方法を説明しています。インターネットの「お気に入り」や「メール設定をそのまま使いたい」そんな方はこちらをご覧ください。また、周辺機器やソフトも同じように使える方法も説明しています。

853-810601-157-A
2003年9月　初版

このマニュアルの表記について

◆手順は左、補足説明は右に

このマニュアルでは、操作手順は順番に画面を示しながら説明しています。実際のパソコンの画面を確かめながら操作を進めてください。パソコンの画面でむやみにキーボードのキーやボタン、トラックボールを操作すると、思わぬ画面が表示されることがあります。このマニュアルで、どこを操作すればよいのか必ず確認してください。また、ページの右側の注意には、操作に関連する補足説明や用語解説などが記載されています。はじめてパソコンを扱う方は、右側の説明もよく読んでください。

◆このマニュアルで使用している記号や表記には、次のような意味があります

してはいけないことや、注意していただきたいことを説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、作ったデータの消失、使用しているソフトの破壊、パソコンの破損の可能性があります。

そこまでに説明した手順の中でとくに大切なポイントがまとめられています。後から応用するときのヒントとして利用してください。

パソコンを使うときに知っておいていただきたい用語の意味を解説しています。

マニュアルの中で関連する情報が書かれている所を示しています。

◆このマニュアルの表記では、次のようなルールを使っています

【 】 【 】で囲んである文字は、キーボードのキーを指します。

CD/DVDドライブ DVD-RAM/R/RWモデルでは、DVD-RAM/R/RWドライブのことを指します。

「ぱそガイド」 電子マニュアル「ぱそガイド」を起動して、各項目を参照することを示します。「ぱそガイド」は、デスクトップのをダブルクリックして起動します。

「ぱそガイド」-「アプリケーションの紹介と説明」 電子マニュアル「ぱそガイド」を起動して、ソフトの操作方法などを参照することを示します。ソフトの名称などがわかっている場合は、続けて「50音別目次」をクリックして該当する項目をご覧ください。

◆このマニュアルでは、各モデル（機種）を次のような呼び方で区別しています

下記の表をご覧になり、購入された製品の型名とマニュアルで表記されるモデル名を確認してください。

このパソコン 表の各モデル（機種）を指します。

DVD-RAM/R/RWモデル DVD-RAM/R/RWドライブを搭載しているモデルのことです。

TVモデル テレビ/地上波データ放送を見るための機能を搭載しているモデルのことです。

Office 2003モデル Office Personal 2003があらかじめインストールされているモデルのことです。

型名	型番	表記の区分			
		CD/DVDドライブ	TV機能	OS	添付ソフト
VS700/7D	PC-VS7007D	DVD-RAM/R/RWモデル	TVモデル（リモコン添付）	Windows XP Home Edition	Office 2003モデル
VS500/7D	PC-VS5007D				

◆本文中の画面やイラスト、ホームページについて

本文中の画面やイラスト、ホームページは、モデルによって異なることがあります。また、実際の画面と異なることがあります。
記載しているホームページの内容やアドレスは、本冊子制作時点のものです。

◆このマニュアルで使用しているソフトウェア名などの正式名称

（本文中の表記）	（正式名称）
Windows、Windows XP、Windows XP Home Edition	Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system 日本語版 Service Pack 1
Windows XP Professional	Microsoft® Windows® XP Professional operating system 日本語版 Service Pack 1
Windows 2000 Professional	Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system 日本語版
Windows Millennium Edition	Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system 日本語版
Windows 98 Second Edition	Microsoft® Windows® 98 Second Edition operating system 日本語版
Windows 98	Microsoft® Windows® 98 operating system 日本語版
Windows 95	Microsoft® Windows® 95 operating system 日本語版
Office Personal 2003	Microsoft® Office Personal Edition 2003（Microsoft Office Word 2003、Microsoft Office Excel 2003、Microsoft Office Outlook® 2003、Microsoft Office Home Style+）
Outlook 2003	Microsoft® Office Outlook® 2003
インターネットエクスプローラ、Internet Explorer	Microsoft® Internet Explorer 6.0 Service Pack 1
Internet Explorer 4.0	Microsoft® Internet Explorer 4.0
アウトルックエクスプレス、Outlook Express	Microsoft® Outlook® Express 6.0
BIGLOBEでインターネット	BIGLOBEインターネット接続ツール
バックアップ-NX	バックアップ-NX（パソコン乗換機能付）
RecordNow DX	Sonic RecordNow DX
PCGATE Personal	PCGATE Personal Ver2.1

ご注意

(1)本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
(2)本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
(3)本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、NEC 121コンタクトセンターへご連絡ください。落丁、乱丁本はお取り替えいたします。
(4)当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
(5)本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
(6)海外NECでは、本製品の保守・修理対応をしておりませんので、ご承知ください。
(7)本機の内蔵ハードディスクにインストールされているMicrosoft® Windows® XP Home Editionおよび本機に添付のCD-ROM、DVD-ROMは、本機のみでご使用ください。
(8)ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。

■輸出に関する注意事項

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠していません。
本製品を日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。
従いまして、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っていません。

本製品の輸出（個人による携行を含む）については、外国為替及び外国貿易法に基づいて経済産業省の許可が必要となる場合があります。
必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。
輸出に際しての許可の要否については、ご購入頂いた販売店または当社営業拠点にお問い合わせください。

■ Notes on export

This product (including software) is designed under Japanese domestic specifications and does not conform to overseas standards. NEC*[1] will not be held responsible for any consequences resulting from use of this product outside Japan. NEC*[1] does not provide maintenance service nor technical support for this product outside Japan.

Export of this product (including carrying it as personal baggage) may require a permit from the Ministry of Economy, Trade and Industry under an export control law. Export without necessary permit is punishable under the said law. Customer shall inquire of NEC sales office whether a permit is required for export or not.

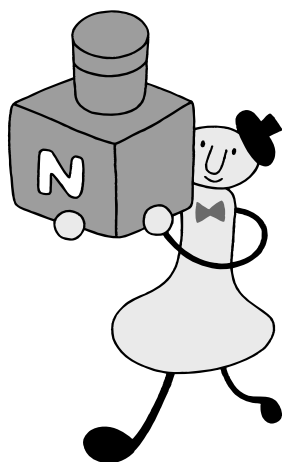
*[1]: NEC Corporation, NEC Personal Products, Ltd.

目次 CONTENTS

目 次
CONTENTS

PART

1 パソコンを接続する前に

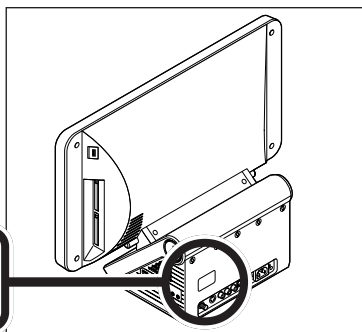
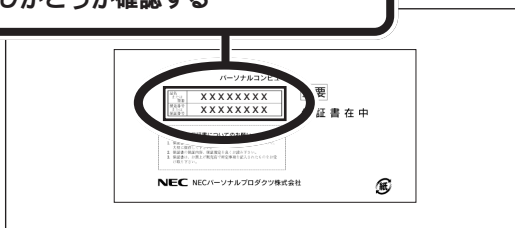
梱包箱を開けたら、まず『スタートシート』で添付品などを確認しましょう。確認できたら、パソコンを置く場所を決めましょう。パソコンは精密機械ですから、置き場所についてはいくつか気をつけなければいけないことがあります。

箱を開けた後で

梱包箱を開けたら、まず添付品、型名(型番)、製造番号を確認します。

添付品を確認する

梱包箱を開けたら、まず最初に『スタートシート』をご覧になり、添付品が揃っているかどうか確認してください。万一、添付品が足りなかったり、破損していた場合は、すぐにNEC121コンタクトセンターにお問い合わせください。

型名(型番)と製造番号を確認する

1 本体背面の型名(型番)と製造番号を確認する

2 保証書の記載と❶で確認した番号が同じかどうか確認する

チェック!!

本体背面と保証書の記載が異なっていた場合は、NEC121コンタクトセンターにお問い合わせください。

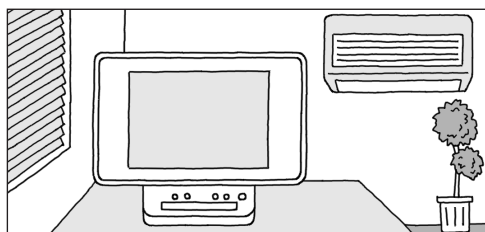
保証書は、ご購入元で所定事項をご記入のうえ、お受け取りになり、保管しておいてください。保証期間中に万一故障した場合は、保証書記載内容にもとづいて修理いたします。保証期間後の修理については、NEC121コンタクトセンターにお問い合わせください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理いたします。詳しくは、保証書をご覧ください。

参照

NEC121コンタクトセンターのお問い合わせ先→『121wareガイドブック』

置き場所を決める

パソコンを置く場所を決めましょう。パソコンには、置くのに適した場所、適さない場所があります。また、パソコンの近くに置いてはいけないものもあります。

パソコンを置くのに適した場所

◆屋内
パソコンは必ず屋内に置いてください。

◆平らで十分な強度がある台の上
（パソコンが落ちるおそれがないこと）
パソコンを置くのに適切な台がない場合は、市販のパソコンラックなどを使うこともできます。使いやすさをよく考えて選びましょう。

◆温度10℃～35℃（結露しないこと）、湿度20%～80%

◆ホコリが少ない
パソコンにホコリは大敵です。ホコリの少ない場所を選んでください。

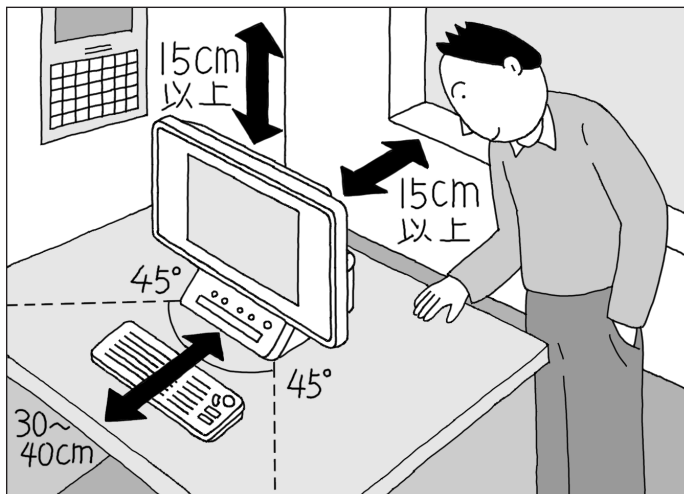
◆電話回線の近く
アナログモデムやISDN(アイ・エス・ディー・エヌ)、ADSL(エー・ディー・エス・エル)でインターネットに接続する場合は、電話回線の接続口(モジュラーコンセント)の近くにパソコンを設置しましょう。なお、インターネットに接続するための機器が近くにある場合は、これらの機器の近くにパソコンを設置します。パソコンの電話回線への接続のしかたは、『パソコン機能ガイド』PART2の「モジュラーコネクタ」で説明しています。

◆アンテナ線の先が届く場所
本体にアンテナ線をつなぐと、パソコンでテレビを見ることができます。あらかじめアンテナ線の長さや配置を考慮してパソコンを設置することをおすすめします。また、TVモデルには、ビデオデッキなども接続できます。これらの機器を接続する場合には、ケーブルの長さを考慮して置き場所を決めましょう。アンテナ線の接続は、『TV モデルガイド』の「PART1 接続と準備をする」で説明しています。

結露

空気中の水分が金属板などの表面に触れて水滴となる現象です。寒い屋外から暖かい室内に入るとメガネが曇ったりするのも、結露の一例です。パソコンを温度の低い場所から暖かい部屋に持ち込んだりすると、機械の外側や内部に結露することがあります。このようなときは、電源を入れずに1時間以上置いておき、結露が収まるのを待ってから使ってください。

パソコンを置くのに必要な広さ

パソコンを設置するときには、キーボードを置く場所や、配線のためのスペースが必要です。

◆パソコン本体の前側
➜約 30cm〜40cm

キーボードを置くためには、約20cm必要です。ゆったりとキーを打つためには、さらに約10cm〜20cmの余裕があったほうがよいでしょう。また、キーボードは、パソコン本体から45度の範囲で使用することをおすすめします。

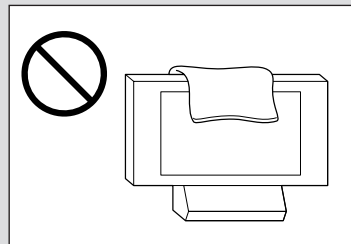
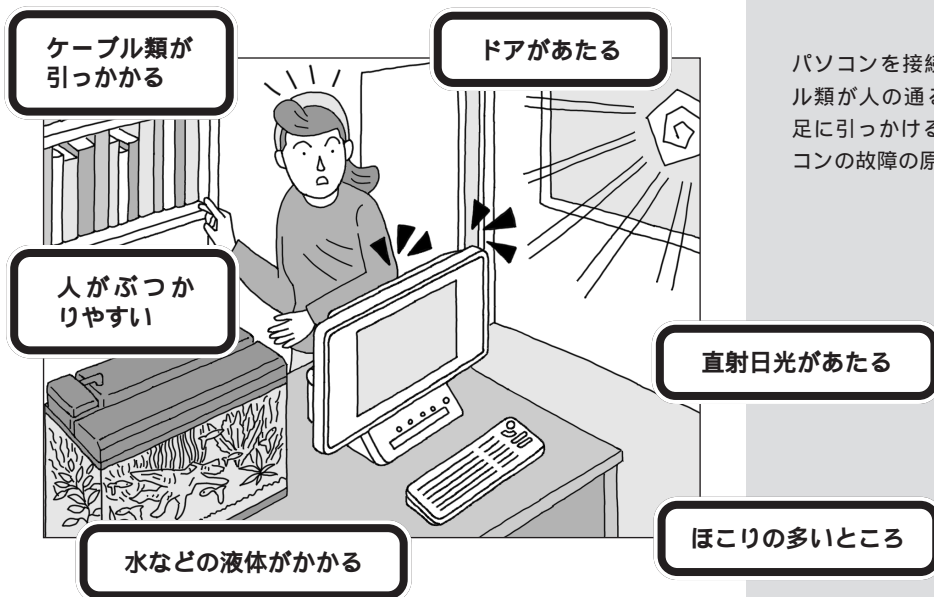
◆パソコン本体の後ろ側
➜約 50cm（最低 15cm 以上）

パソコン本体の後ろ側は、壁などから最低でも15cm離す必要があります。しかし、それだけではあとで配線をするときに大変です。50cm程度の余裕があれば、パソコン本体の後ろ側がよく見えるので、接続の作業が楽になります。

◆パソコン本体の側面
➜ 最低 15cm 以上

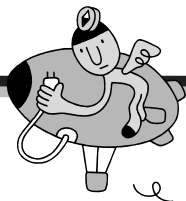
パソコン本体の側面には通風孔があるので、通風孔と棚の天板などとの間を最低でも15cmあけてください。また、布などをかけて通風孔をふさがないようにしてください。

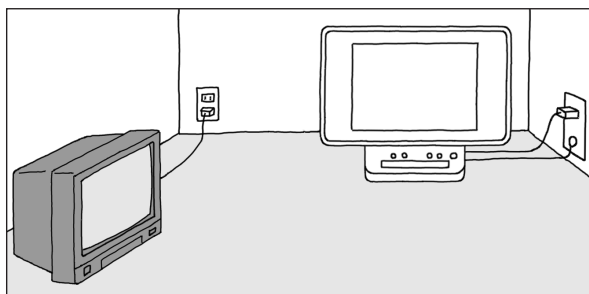
チェック!!

パソコン本体の通風孔をふさいでしまうと、内部の温度が上昇し、動作不良や故障の原因になります。

パソコンを置くのに適さない場所

パソコンを接続したときに、ケーブル類が人の通る床をはっていると、足に引っかけるなどしてけがやパソコンの故障の原因となり危険です。

パソコンの近くに置いてはいけないもの

- **扇風機や大型のスピーカ、温風式こたつなど**
  （磁気を発生するもの、磁気を帯びているもの）
  パソコンは磁気の影響を受けやすいので、強い磁気が近くにあるとディスプレイの表示が揺れたり、色が乱れたりすることがあります。
  パソコン用スピーカなど、磁気をもらさない（防磁設計）スピーカは近くに置いても構いません。
  温風式コタツも磁気を発生するので、パソコンを温風式コタツの上に置かないでください。
- **ストーブなどの暖房器具**
  暖房器具の近くにパソコンを置くと、熱でパソコンが変形したり、異常な動作をすることがあります。
- **薬品**
  薬品によっては、付着するとパソコンが溶けたり、変形したりすることがあります。
- **他のディスプレイ**
  他のディスプレイの表示が揺れたり、色が乱れたりすることがあります。
- **テレビ、ラジオ**
  テレビやラジオにノイズが入ることがあります。
- **コードレス電話、携帯電話**
  コードレス電話や携帯電話などで通話中のときにノイズが入ることがあります。また、パソコンも電波の影響を受けてスピーカにノイズが入ることがあります。

電源の取り方

パソコンの電源の取り方はとても大切です。コンセントの位置や数をよく確認しておきましょう。

パソコンに必要な電源

◆アース端子

本体のアース線を接続します。コンセントにアース線がない場合は、他の方法でアースを取っても構いません。その場合、必ずお近くの電器店など、電気工事士の資格を持った人にアース端子付きコンセントの取り付けを相談してください。

◆コンセント

- **テレビ、ラジオなどとは別のコンセントを使う**

  テレビ、ラジオなどと同じコンセントを使うと、テレビ、ラジオなどに雑音が入ることがあります。

- **電源はコンセントから直接取る**

  コンセントが足らず、パソコン用のテーブルタップなどを使う場合は、テーブルタップの合計電力を必ず守ってください。

- **必要なコンセントの個数を確認する**

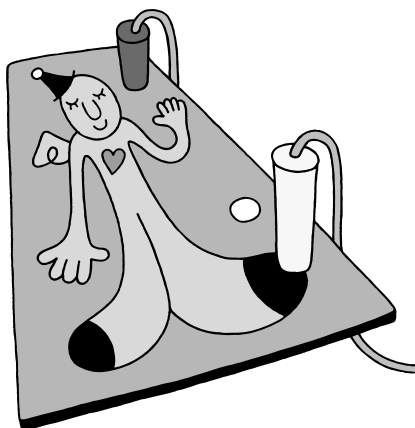
  次の機器にコンセントが必要です。

  - パソコン本体
  - 充電スタンド

PART

2

パソコンの接続をする

パソコンは精密機器ですから、倒れたりしないように設置することが大切です。また、ケーブル類のつなぎ方を間違えると、パソコンは正しく動いてくれません。このあとの説明や安全上の注意事項を必ず読んで、慎重に作業を進めましょう。

パソコンを接続する手順

**これからはじめるパソコンの接続は、次の手順で行います。
接続をはじめる前に、よく確認しておいてください。**

キーボードを使う準備をする

アースを接続する
接続にはプラスドライバー（ねじ回し）が必要です。

電源ケーブルを接続する

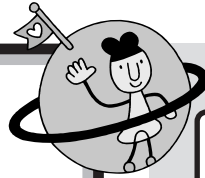
次ページから記載されている手順にしたがって、接続を行ってください。

接続の途中で電源スイッチを押さないように注意してください。

プリンタなど、周辺機器の接続は、あとから

プリンタや別売の周辺機器がある場合、まだ接続しないでください。このマニュアルの「PART3 電源を入れてパソコンを使えるようにする」の操作を先に完了させる必要があります。そのあとで『パソコン機能ガイド』をご覧になり、接続と設定を行ってください。

キーボードを使う準備をする

キーボードに添付のバッテリパックを取り付けて、
充電スタンドを使って充電します。

用語

キーボード

パソコンで文字や数字を書くための道具です。キーボード一面に並んでいる押しボタンのことを「キー」と呼びます。いまはまだ、それぞれのキーの意味や働きについて気にする必要はありません。

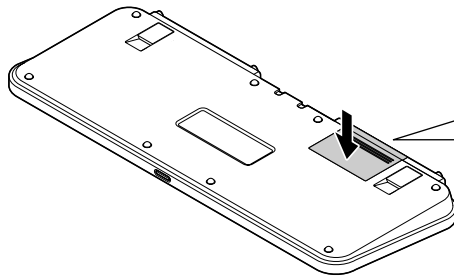
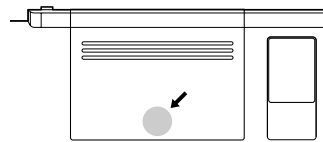
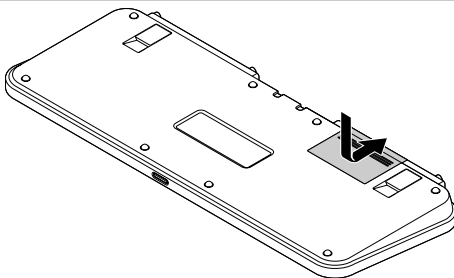
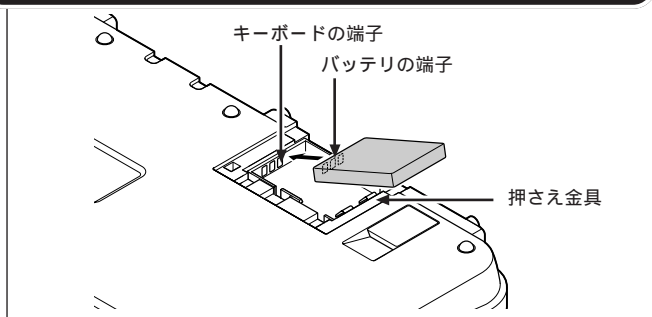
キーボードにバッテリパックを取り付ける

このパソコンのキーボードは、無線でパソコンに信号を送ります。ケーブルでパソコンと接続する必要はありません。
キーボードはバッテリパックを取り付けて使用します。バッテリパックの取り付け方は、次の通りです。

チェック!!

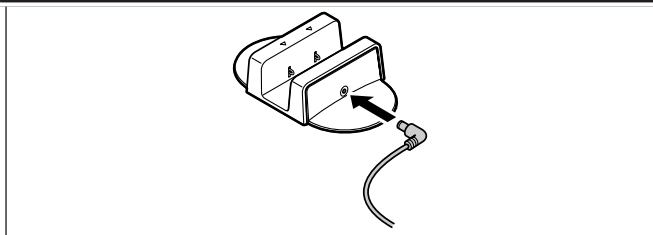
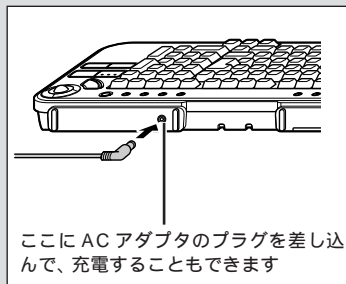
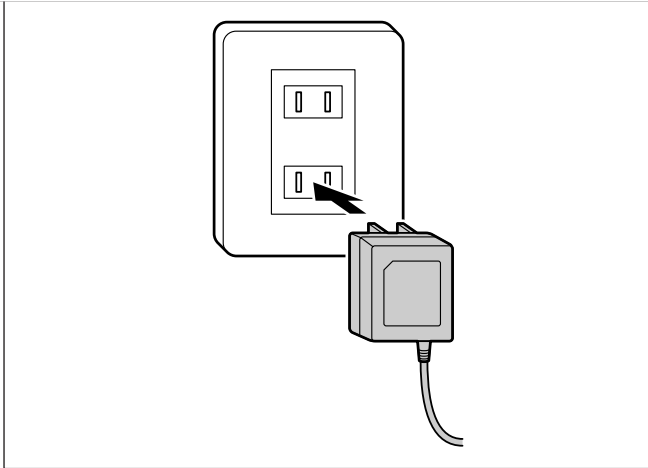
バッテリは誤った使い方をすると破裂するおそれがあります。次のことに注意してください。

- 必ず添付のバッテリまたは別売のバッテリ(型番：PK-IO/BP01)を使用してください。
- 長い間使わないときは、バッテリパックを取り出してください。

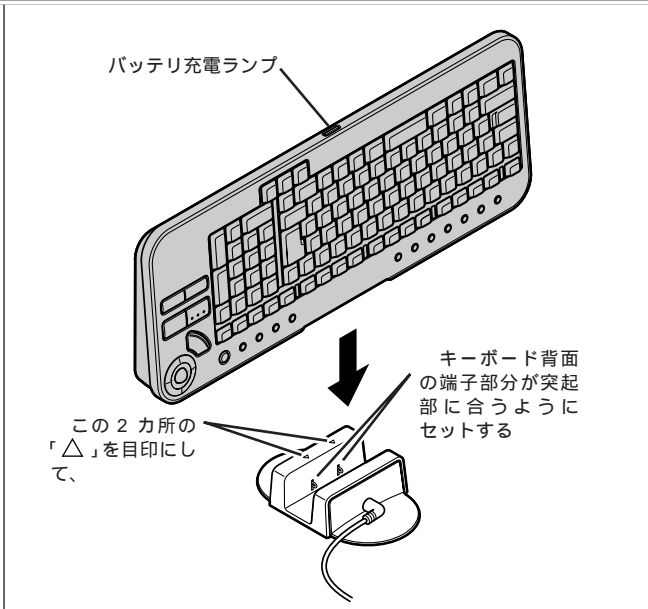
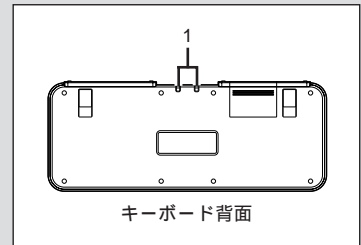
1 キーボード裏面のバッテリカバーを軽く押す

2 バッテリカバーを押したまま矢印の方向にスライドさせて、バッテリカバーを取り外す

3 バッテリパックのラベル面を下に向けて、ラベルの「◀」の向きをキーボードの端子の方向に合わせて、カチッと音がするまでしっかり取り付ける

4 手順2で取り外したバッテリカバーを元通りに取り付ける

バッテリを充電する

キーボードにバッテリパックを取り付けたら、充電スタンドを使ってバッテリを充電します。

1 充電スタンドのコネクタに、ACアダプタのプラグを差し込む

キーボードのコネクタに、ACアダプタのプラグを差し込んで充電することもできます。

2 ACアダプタを壁などのコンセントに差し込む

ACアダプタの形状は異なることがあります。

3 キーボードを充電スタンドにセットする

バッテリ充電ランプが赤色に点灯し、バッテリの充電が始まります。バッテリの充電には、約3時間30分かかります。バッテリ充電ランプが消灯すれば、バッテリの充電は完了です。充電スタンドからキーボードを外し、ACアダプタをコンセントから外してください。

充電スタンドの2カ所の「△」を目印にして、図の「1」の部分が、必ず充電スタンドの突起部に合うようにセットしてください。

チェック!!

- ACアダプタを壁などのコンセントに差し込んだ後で、キーボードを充電スタンドにセットしてもバッテリ充電ランプが赤色に点灯しない場合は、バッテリパックが正しく取り付けられているかどうか確認してください。
- キーボードを充電スタンドにセットしたり、充電スタンドから外したりするときは、必ずキーボードを垂直にして行ってください。キーボードを横方向に動かすと、充電スタンドの突起部が破損するおそれがあります。

●キーボードの使える範囲

キーボードは無線でパソコンに信号を送ります。信号の受信機は、パソコン本体に内蔵されています。キーボードはパソコン本体から約 1m 以内、左右約 45 度以内の範囲でお使いください。

電波の影響などにより、使える範囲に影響をおよぼすことがあります。

参照

電波の影響について→『困ったときのQ&A 』

●キーボードのバッテリ稼働時間

キーボードのバッテリ稼働時間は、ご使用の環境や方法にもよりますが、連続使用で約 24 時間です。

●バッテリを長持ちさせるための注意

・キーボードのキーやボタンが押し続けられたり、トラックボールが動き続ける状態が続くと、バッテリが短時間で消耗します。キーボードの上には物を置かないようにしてください。
・キーボードを持ち運んだり、長期保管するときは、必ずバッテリパックを取り出してください。

●バッテリパックのリサイクルについて

・このパソコンのキーボードのバッテリは、リチウムイオン電池を使用しています。
・リチウムイオン電池はリサイクル可能な貴重な資源です。交換後不要になった電池のリサイクルに際しては、ショートによる発煙、発火のおそれがありますので、端子を絶縁するためにテープを貼るかポリ袋に入れて、以下の拠点に設置した充電式電池回収 BOX に入れてください。
　ー個人ユーザー様：充電式電池リサイクル協力店くらぶ
　　※詳しくは、電池工業会ホームページ（http://www.baj.or.jp/）をご覧ください。
　ー法人ユーザー様：NEC 法人向け二次電池持ち込み拠点
　　※詳しくは、NEC 環境ホームページ（http://www.nec.co.jp/eco/ja/products/3r/indes_denchi.html)をご覧ください。
・リサイクル協力店のお問い合わせは、下記へお願いします。
　ーリチウムイオン電池をご購入いただいた販売店
　ー（社）電池工業会小型二次電池再資源化推進センターおよび充電式電池リサイクル協力店くらぶ事務局
・リサイクル時のご注意
　ーバッテリはショートさせないでください。火災や感電の原因になります。
　ー外装カバー（被膜やチューブなど）をはがさないでください。
　ーバッテリパックを分解しないでください。

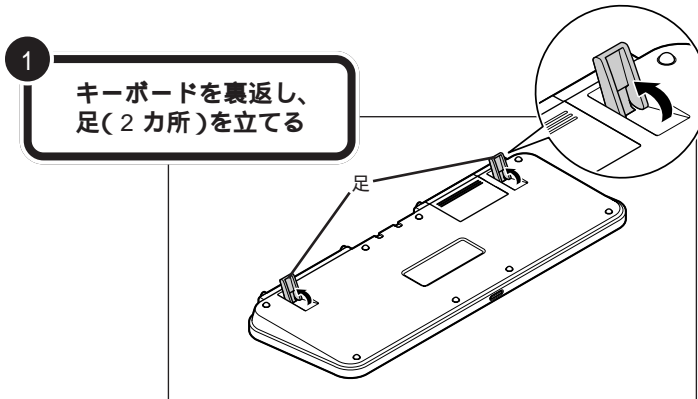
バッテリ切れにご注意

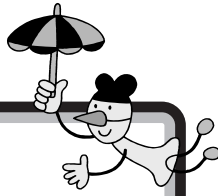
画面にバッテリ交換を促すメッセージが表示されたり、正しく入力できないなどキーボードの反応が悪い場合は、バッテリが消耗していますので、バッテリを充電してください。画面にバッテリ交換を促すメッセージが表示されてから約 60 分は通常どおりキーボードを操作できますが、それ以上経過すると正しく動作しなくなりますので、こまめにバッテリを充電するようにしましょう。

キーボードの省電力機能について

キーボードのキーやボタン、トラックボールに触れない状態が一定時間続くと、トラックボールを動かしても反応しなくなったり、画面が真っ暗になったりします。これは、無駄な電力を使わないように、省電力機能が働いたためです。省電力状態になる前の状態に戻す方法については、PART3 の「省電力機能について」(p.39)をご覧ください。

キーボードの足を立てる

キーボードの足を立てると、角度が変わります。足を立てずに使用することもできるので、使いやすい方を選んで使用してください。

チェック!!

足を立てるとき、カチッと音がするまで矢印の方向に立ててください。

アースを接続する

パソコン本体の背面にあるアース端子のネジをゆるめて、アース線の端子を取り付けます。それからコンセントのアース端子に接続します。

アース線

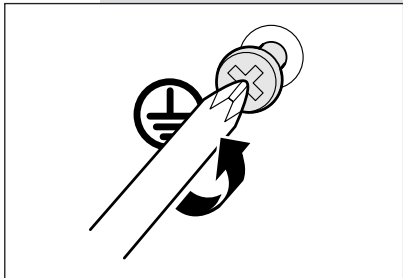
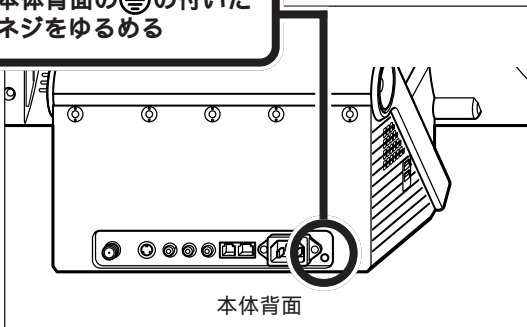
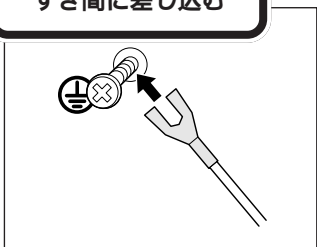
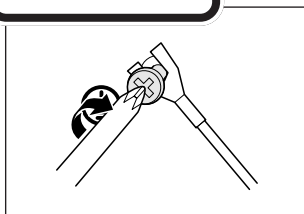
感電を防止するための電線です。パソコンのアース端子と、コンセントのアース端子をつなぐことで、万一漏電した場合の感電を防止する役目を果たします。安全のために必ず接続してください。

用意するもの

アース線（緑色の電線です。）

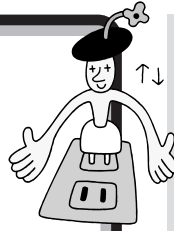
1 本体背面の⏚の付いたネジをゆるめる

ドライバーはネジに合ったものをお使いください。合わないドライバーを使って無理にネジを回すと、ネジが壊れることがあります。

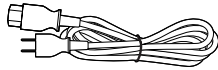
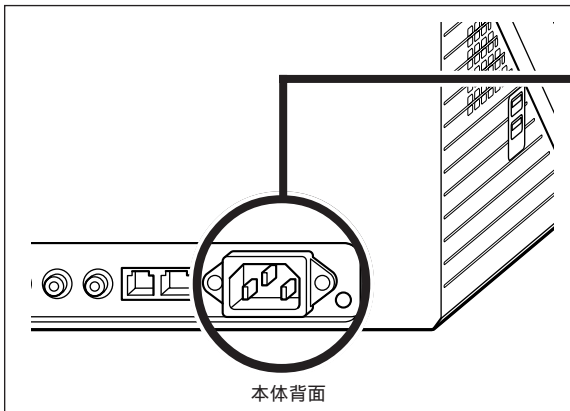
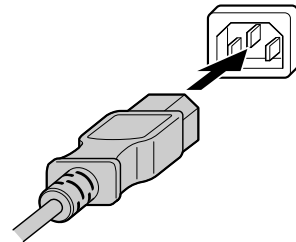
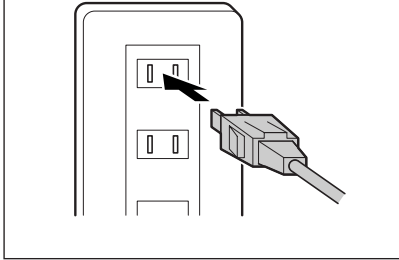
お使いの機種によっては、ネジの形状が異なる場合があります。

2 アース線の端子をすき間に差し込む

3 ネジをしめる

4 アース線のもう一方をコンセントのアース端子に接続する

チェック!!

- アース線は水道管につながないでください。アースできない場合があります。
- アース線は、電話専用のアース端子に接続しないでください。電話に雑音が入る場合があります。
- アース端子付きのコンセントが利用できない場合には、お近くの電器店など電気工事士の資格を持つ人にアース端子付きコンセントの取り付けをご相談ください。

電源ケーブルを接続する

最後に、電源ケーブルを接続します。

用意するもの

パソコン本体用電源ケーブルはパソコンに添付のものをお使いください。

パソコン本体用電源ケーブル

1 電源ケーブルの片方の端を、本体背面のコネクタの奥までしっかり差し込む

2 **電源ケーブルのもう一方のプラグを壁などのコンセントに差し込む**

これで接続は完了です。

プリンタなど、周辺機器の接続は、あとから

プリンタや別売の周辺機器がある場合、まだ接続しないでください。このあとの「PART3 電源を入れてパソコンを使えるようにする」の操作を先に完了させる必要があります。そのあとで『パソコン機能ガイド』をご覧になり、接続と設定を行ってください。

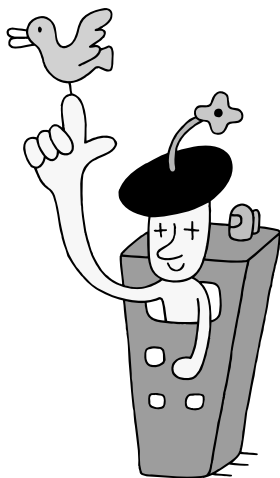
チェック!!

電源ケーブルなどが、人の通る場所にないことを再確認してください。ケーブルを足に引っかけたりすると、パソコンの故障の原因になるだけでなく、思わぬけがをすることもあります。

PART

3

電源を入れて パソコンを使えるようにする

パソコンの接続は終わっていますね。それでは、いよいよ電源を入れます。最初に電源を入れるときは、このパソコンを使えるようにするためのセットアップ作業が必要です。この作業が終わらないと、パソコンは使えるようになりません。このあとの説明をよく読んで、ゆっくり確実に操作してください。

パソコンを セットアップする

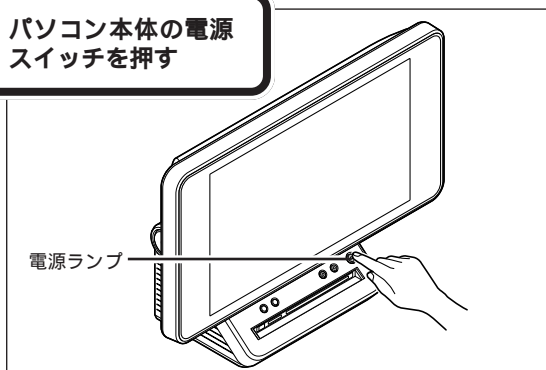
パソコンが使えるようにするための準備が完了するまで、約30分程度かかります。

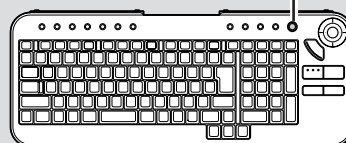
用語

セットアップ

パソコンを使えるようにすることを、セットアップといいます。セットアップが終わると、インターネット、ワープロ、表計算、ゲームなど、このパソコンの様々な機能が使えるようになります。

パソコン本体の電源を入れる

1 パソコン本体の電源スイッチを押す

パソコン本体前面の電源ランプが緑色に点灯する

キーボードの電源スイッチを押してパソコン本体の電源を入れることもできます。

チェック!!

電源スイッチを押しても電源ランプが点灯しない場合、電源ケーブルの接続が不完全であることが考えられます。PART2の「電源ケーブルを接続する」(p.15)をご覧ください。

■画面が表示されるまで、数分かかることがあります

パソコンの電源スイッチを押してから画面が表示されるまでに数分かかることがあります。その間、WindowsのロゴやNECのロゴが表示された後などに、何度か画面が一瞬真っ暗になったり、操作できない状態が続いたりしますが、故障ではありません。あわてて電源を切ったりせずそのままお待ちください。

■操作の途中で電源を切らない!!

p.32までの操作がすべて終わるまでに、約30分かかります。p.32の手順が完了するまでは、絶対に電源を切らないでください。もちろん、電源ケーブルをいきなり抜いたりしてはいけません。パソコンが使えるようになる前に電源を切ると、故障の原因になります。万一、停電やコンセントが抜けたなどの理由で電源が切れてしまった場合は、一度電源ケーブルを抜き、もう一度接続し直した後、電源スイッチを押してください。画面が表示される場合は、セットアップを続けてください。画面が表示されない場合は、NEC121コンタクトセンターにお問い合わせください。

2 次の画面が表示されていることを確認する

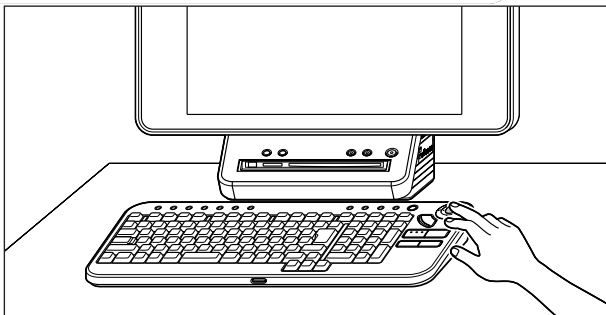
パソコンの操作はあわてずに！

パソコンを使っているときに、次の画面に切り替わるまで、少し時間がかかることがよくあります。これは、パソコンの内部で設定などの準備処理が行われているためです。「しばらくお待ちください」といったメッセージや が出ているときは、キーボードのキーやボタンを何度も押したりしないようにしてください。

「しばらくお待ちください」といったメッセージや (砂時計)が表示されているときは、パソコンが内部で処理を行っている。これらが表示されている間は、何も操作せずに待つ。

セットアップ中に困ったときは、画面右下の をクリックするかキーボードの【F1】を押して、表示された項目をクリックしてください。解決のしかたが表示されます。まちがってメッセージを表示してしまった場合は、「表示しない」をクリックしてメッセージを消してください。

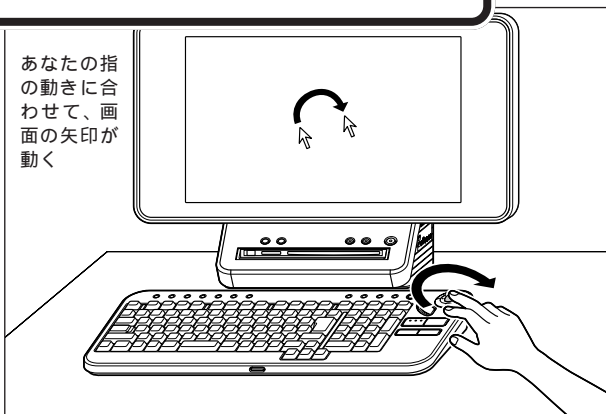
トラックボールを使って操作する

1 トラックボールの上に右手の中指を軽く置く

2 トラックボールを前後左右に動かしてみる

トラックボールは、中指を軽く上に置いて、滑らせるように動かします。

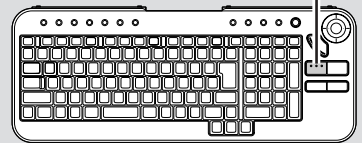
マウスポインタ（矢印）を動かす練習は、「パソコンのいろはII」でできます。ここではトラックボールの動きに合わせて矢印が動くことがわかれば十分です。

参照

「パソコンのいろはII」について→PART4の「パソコンの基本操作を学ぶ」（p.48）

ポイント

トラックボールは、中指を軽く上に置いて、滑らすように動かす。トラックボールの動きに応じて、画面の矢印が動く。

クリック

画面の文字や絵などに矢印を合わせ、左のクリックボタンを 1 回押す操作を「クリック」といいます。「クリック」は、最も基本的な操作方法なので、このあとの手順でも同じ操作が何度も出てきます。しっかりマスターしてください。

使用許諾契約に同意する

1 「使用許諾契約」の内容を確認する

使用許諾契約とは？

このパソコンを使えるようにするには、パソコンに入っているソフトウェアを違法にコピーして他人に渡したりしないという契約に同意しなければなりません。同意していただけない場合は、このパソコンを使うことができません。

契約書の文章が表示された欄の右に （または ）があります。この （または ）の上に矢印を合わせてクリックすると、続きを読むことができます。このように、画面に内容の一部だけが表示されている場合に、表示する部分を移動させることを「スクロール」と呼びます。

2
記載内容に同意する場合は、「同意します」の左にある
◯に矢印を合わせる
◯の内側に矢印の先端が来るようにしてください。
Windows xp
NEC
使用許諾契約
3
ここでクリックする
（左のクリックボタンを１回押す）
同意します(Y)
同意しません(O)
同意します(Y)
が
同意します(Y)
になる

Windows xp
NEC
使用許諾契約
4
に（矢印）を合わせて、
クリックする

コンピュータに名前を付ける

・文字入力に慣れている場合は、ここでコンピュータ名をつけてもかまいません。コンピュータ名を入力するときは、半角英数字を使ってください。パソコンが何台かあるなら「PC1」、「PC2」といった感じに。思いつかなければ「VALUESTAR」としてください。
・コンピュータ名に数字を使うときは、パソコン本体前面の1のランプが点灯していることを確認してください。点灯していないときは、キーボードの【NumLock】を押してください。
・コンピュータ名はセットアップ後に変更することもできます。変更の方法は、Windowsの「ヘルプとサポート」(p.47)で「コンピュータ名」で検索し、「コンピュータ名を変更する」をご覧ください。

インターネットに接続する方法を指定する

「インターネット接続が選択されませんでした」または「インターネットに接続する方法を指定してください。」の画面が表示された場合は、以下の操作を行ってください。画面が表示されない場合は、次のページの「ユーザー登録をキャンセルする」に進んでください。

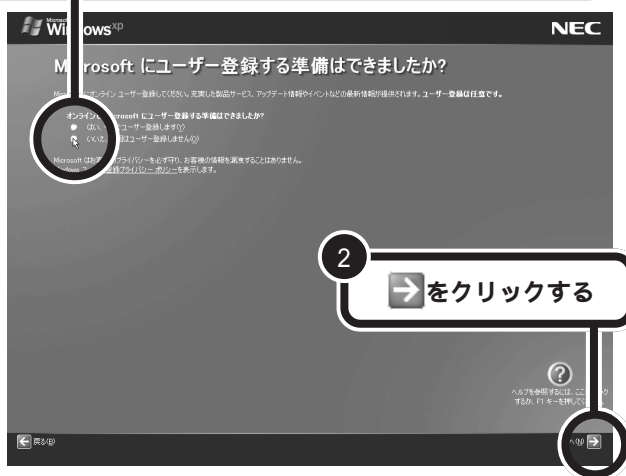
1 ▷▷(省略)をクリックする

インターネットに接続する方法は、セットアップが終わった後で設定することもできます。詳しくは、セットアップ完了後に、電子マニュアル「ぱそガイド」-「インターネットと電子メール」-「インターネットに接続する」をご覧ください。

ユーザー登録をキャンセルする

「Microsoftにユーザー登録する準備はできましたか？」の画面が表示された場合は、以下の操作を行ってください。画面が表示されない場合は、次のページの「インターネットアクセスのセットアップをキャンセルする」に進んでください。

1 「いいえ、今回はユーザー登録しません」の左にある○の中に矢印の先端を合わせ、クリックする

「いいえ、今回はユーザー登録しません」の左の○が◉になります。

2 →をクリックする

ユーザー登録はセットアップが終わった後で、「ユーザー登録ウィザード」で行うこともできます。詳しくは、Windowsの「ヘルプとサポート」(p.47)で「ユーザー登録」で検索し、「オンラインユーザー登録を使用する」をご覧ください。

チェック!!

「いいえ、今回はユーザー登録しません」の左にある○をクリックしないで、→をクリックしてしまった場合は、次の画面で←をクリックしてやり直してください。

インターネットアクセスのセットアップをキャンセルする

「今すぐインターネットアクセスのセットアップを行いますか？」の画面が表示された場合は、以下の操作を行ってください。画面が表示されない場合は次のページの「コンピュータを使うユーザーを指定する」に進んでください。

1 「いいえ、今回はインターネットに接続しません」の左にある◯の中に矢印の先端を合わせ、クリックする

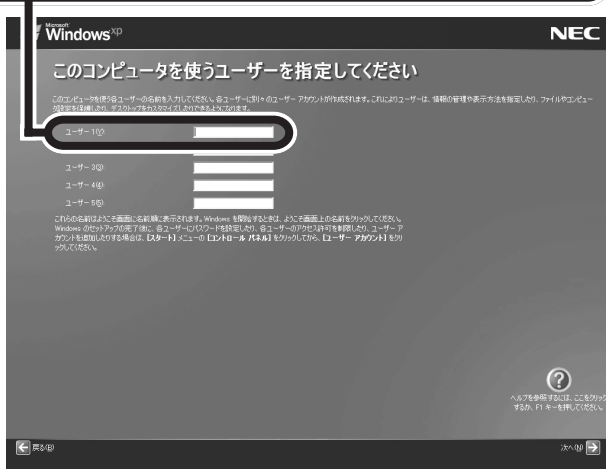
「いいえ、今回はインターネットに接続しません」の左の◯が◉になります。

2 ➔をクリックする

コンピュータを使うユーザーを指定する

1

「ユーザー 1」欄にカーソル（｜）が点滅していることを確認する

点滅していないときは、「ユーザー 1」欄をクリックしてください。

2

キーボードから名前を入力する

ここでは、まだ文字入力に慣れていない方のために日本語入力をオフの状態にしてローマ字で入力する手順を説明します。

【例】

「mita」と入力する場合

日本語入力がオフの状態で、キーボードから【M も】【I に】【T か】【A ち】の順でキーを押す。

■入力を間違えたら

- カーソルの左側の文字を消すには：【BackSpace】
- カーソルの右側の文字を消すには：【Delete】
- カーソルを動かすには：【←】【→】
- キーを押しても文字が入力されないときは：
  入力欄にカーソル「｜」が表示されているかどうか確認してください。表示されていないときは、入力欄をクリックしてください。

3

入力したユーザー名を下の欄に控える

このパソコンを再セットアップする時に必要になりますので、入力したユーザー名は必ず控えておいてください。

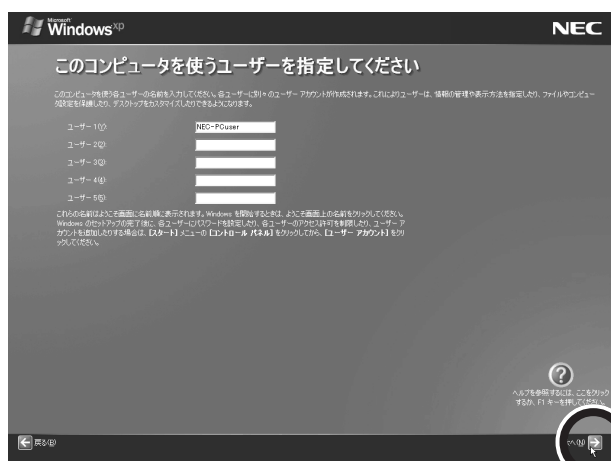
ユーザー名：

チェック!!

ここでは「ユーザー 1」のみ入力してください。ユーザー名は、セットアップが終わった後で追加や変更ができます。詳しくは、Windows の「ヘルプとサポート」(p.47)をご覧ください。

日本語入力のオンとオフは、キーボードの【半角 / 全角】を押して切り替えることができます。このとき、日本語入力ツールバーの表示は次のようになります。

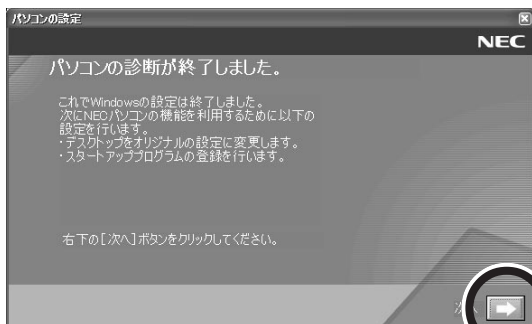
「A」と表示されているときは英数字で、「あ」と表示されているときはかなで入力されます。

ユーザー名に数字を使うときは、パソコン本体前面の【1】のランプが点灯していることを確認してください。点灯していないときは、キーボードの【NumLock】を押してください。

パソコンを使う準備をする

2 次の画面が出るまで待つ

「完了」をクリックすると、Windows が再起動（自動的に電源が切れ、再び電源が入ること）します。再起動中、画面が一瞬真っ暗になったり、操作できない状態が続いたりしますが、故障ではありません。電源を切らずにそのままお待ちください。Windows の再起動後、「パソコンの設定」画面が表示されます。

**まだセットアップは完了していません。
続けて、次の手順へ進んでください。**

3 下の画面が表示されていることを確認する

4 をクリックする

「ファミリー環境設定ツール」の設定をする

「ファミリー環境設定ツール」を使って、「ファミリーリング」にユーザーを登録します。
「ファミリーリング」に複数のユーザーを登録すると、その人個人の設定にパソコンを切り替えることができるので、1台のパソコンを複数のユーザーで使用するときに便利です。
「ファミリーリング」には最大 8 人まで登録することができます。ここでは、例として 4 人のユーザーを登録する方法について説明します。

1 4 人の左の◯をクリックして◉にする

2 「次へ」をクリックする

3 **p.26の「コンピュータを使うユーザーを指定する」で設定したユーザー名が表示されていることを確認する**

4 **「登録完了」をクリックする**

次の画面が表示される

5 **登録した内容を確認して「終了」をクリックする**

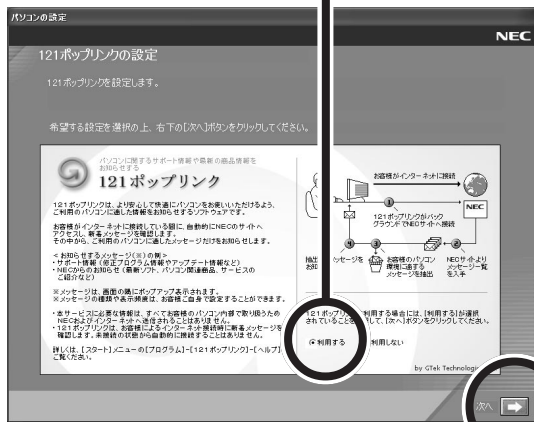
この画面に表示されているユーザーが、「ファミリー環境設定ツール」の管理者となります。管理者の権限は、設定変更できません。

登録内容（画像、ユーザ名など）の変更やユーザーを追加する場合は、セットアップ完了後に「ファミリー環境設定ツール」で行うことができます。
ファミリーリングへのユーザー登録のしかたについては、『快適パソコン生活 Book』をご覧ください。

参照

ファミリー環境設定ツールについて
→電子マニュアル「ぱそガイド」-「パソコンの設定」-「パソコンを共有する」-「ファミリー環境設定ツール」または、「ファミリー環境設定ツール」のヘルプ

121ポップリンクを設定する

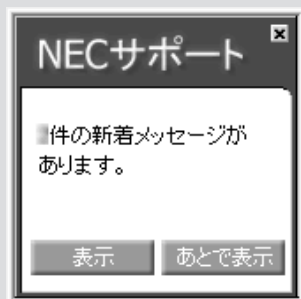
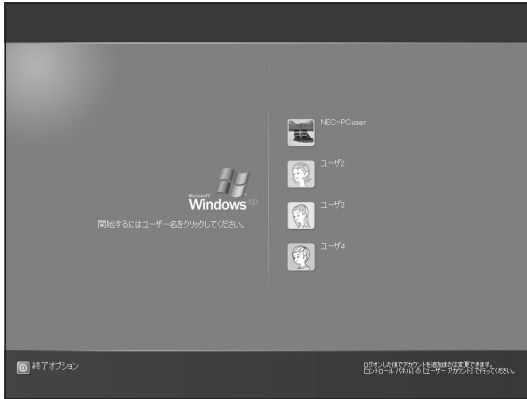
1 「利用する」の左が◉になっていることを確認する

2 ➡ をクリックする

次の画面が表示される

3 ➡ をクリックする

Windows が再起動（自動的に電源が切れ、再び電源が入ること）します。

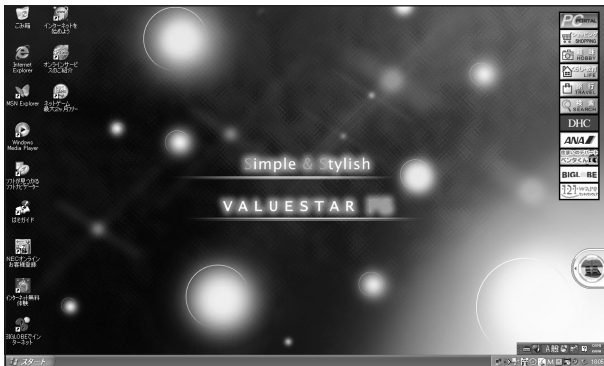
次のページの画面が表示される

ここで「利用する」を選ぶと、インターネットで接続できるようになった後で、お使いのパソコンに適した最新情報がNECからインターネット経由で届くようになります。

121ポップリンクの設定は、セットアップ後に変更することもできます。詳しくは、セットアップ完了後に、電子マニュアル「ぱそガイド」-「アプリケーションの紹介と説明」-「50音別目次」をご覧ください。

ここでは、p.26の「コンピュータを使うユーザーを指定する」で設定したユーザー名をクリックしてください。

再起動後、「システムの復元ポイントの設定」画面が表示されます。しばらくこの画面が表示された後、自動的に再起動します。
再起動時にユーザー選択画面が表示されますのでp.26の「コンピュータを使うユーザーを指定する」で設定したユーザー名をクリックしてください。
再起動後、次のページの画面が表示されるまで何も操作せずにお待ちください。

Windowsのセットアップが完了した後は、この画面で起動するユーザー名をクリックすると、クリックしたユーザーでWindowsを起動することができます。

正しくセットアップできたかを確認する

1 下の画面が表示されていることを確認する

この画面が表示されれば、正しくセットアップが行われています。

2 パソコンの「日付と時刻」の設定が正しいかを確認する

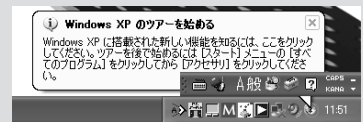
画面右下のここに（矢印）を持ってくると日付が表示されます。

時刻は画面の右下に表示されます。
日付と時刻が正しくない場合は、設定し直してください。

これでセットアップの作業は完了です。

他のユーザーを登録する

このパソコンに複数のユーザーを登録すると、デスクトップにあるファミリーリングに（矢印）を合わせて、ユーザー名をクリックするだけで、その人個人の設定に切り替えることができます。
他のユーザーを追加する場合や、登録した内容（名前、画像など）を変更する場合は「ファミリー環境設定ツール」を使います。詳しくは、「スタート」-「すべてのプログラム」-「ファミリー環境設定ツール」-「ファミリー環境設定ツール ヘルプ」や『快適パソコン生活 Book』をご覧ください。
また、他のユーザーを追加した場合は、「スタート」-「コントロールパネル」-「ユーザーアカウント」の一覧にも反映されます。

次回から、パソコンの電源を入れると、1～2分後には、いつもこの画面が表示されるようになります。この画面全体をデスクトップといいます。デスクトップには、いろいろなものが表示されていますがパソコンに慣れてない人は、まだ画面をクリックしたりしないで、まずは、どんな物があるか見てみましょう。

画面右下に「Windows XPのツアーを始める」と表示される場合は、をクリックするとWindows XPの新機能についての紹介を見ることができます。Windows XPの新機能についての紹介をあとで見る場合は、「Windows XPのツアーを始める」のをクリックしてください。

参照
デスクトップ→PART4の「デスクトップってなに？」（p.44）

参照
日付と時刻の設定方法→電子マニュアル「ぱそガイド」-「パソコンの練習と基本」-「お助け操作集」-「その他」

必要に応じて、パソコンを守る設定を行う

このパソコンには、プログラムやデータを守るためのソフトが添付されています。McAfee VirusScan Online(マカフィー ウイルススキャン オンライン)は、パソコンにコンピュータウイルス(パソコンの動作に悪影響のある不正なプログラム)がひそんでいないかチェックするソフトです。PCGATE Personal(ピーシーゲート パーソナル)はインターネットからの不正アクセスからパソコンを守るためのセキュリティソフトです。必要に応じて、これらのソフトの設定を行ってください。

大切なデータは、バックアップをとる

パソコンのデータが保存されているハードディスクは、ちょっとした衝撃によって壊れたり、長い間使いつづけているうちに突然動かなくなることがあります。このとき、ハードディスクを交換したり、再セットアップすることで、パソコンを購入時の状態に戻すことはできますが、自分で作ったデータは元に戻すことはできません。万一のアクシデントに備えて、自分が作った大事なデータは、必ずバックアップをとるように心がけてください。なお、「バックアップ-NX」を使ってDドライブにデータを保存すると、ハードディスクが壊れたときにデータを元に戻すことができなくなるため、「RecordNow DX」を使って、別売のDVD-RやCD-Rなどにバックアップしたデータを保存することをおすすめします。
また、トラブルがどうしても解決できないときに行う「再セットアップ」は、ハードディスクにある再セットアップ用データを使って行いますが、ハードディスクが故障してしまうと「再セットアップ」すらできなくなります。このような事態に備えて、「再セットアップディスク作成ツール」を使って、再セットアップ用データを別売のDVD-RやCD-Rなどに移しておく(「再セットアップ用CD/DVD-ROM」を作っておく)ことをおすすめします。

最新のウイルスに備えてウイルス定義ファイルを更新する

このパソコンでは、はじめてアップデート機能を利用した日から90日間、無料でMcAfee VirusScan Onlineの更新サービスを受けられます。更新サービスの利用中は、インターネットを使用して、「McAfee VirusScan Online」を最新の状態に更新できます。新種のウイルスに対応するために、必ず更新するように心がけてください。
「McAfee VirusScan Online」の更新について詳しくは、電子マニュアル「ぱそガイド」-「アプリケーションの紹介と説明」-「50音別目次」-「McAfee VirusScan Online」をご覧ください。

参照

McAfee VirusScan Online、PCGATE Personalについて→電子マニュアル「ぱそガイド」-「アプリケーションの紹介と説明」-「50音別目次」

チェック!!

インターネットやLANなどの設定を行うと、PCGATE Personalの「ネットワークセキュリティウィザード」が表示されることがあります。電子マニュアル「ぱそガイド」-「インターネットと電子メール」-「インターネットを使いこなす」-「不正アクセスからパソコンを守るには」をご覧になり、設定を行ってください。

用語

バックアップ

万一、データが消えてしまっても元に戻せるように、他のドライブやメディア(CD-R/RWなど)にデータを複製しておくこと。

参照

- 「バックアップ-NX」、「RecordNow DX」について→電子マニュアル「ぱそガイド」-「アプリケーションの紹介と説明」-「50音別目次」
- 再セットアップ用CD/DVD-ROMを作成する→『困ったときのQ&A』PART2の「再セットアップ用CD/DVD-ROMを使って再セットアップする」

お客様登録を行う

NECでは、NECパーソナル商品をご購入いただいたお客様へ、サービス・サポートでの「121（ワン・トゥ・ワン）＝お客様一人一人に向き合う」を実現するために、お客様登録をおすすめしております。

お客様登録を行うと、こんなに便利！

登録料・会費無料

お客様登録をしていただきますと、以下のさまざまなサービス・サポートをご提供いたします。

■電話サポート

電話で121コンタクトセンターに商品に関する技術的なお問い合わせができるようになります。

■インターネットサービス＆サポート

NECパーソナル商品総合情報サイト「121ware.com」で「ログインID」を取得していただきますと、ご登録商品に応じたサポート情報やサポートプログラム（ドライバ、モジュール）をいち早くご提供いたします。また、自動アップデートサービスでパソコンを常に最新の状態でお使いいただけます。

■メールサービス

ご利用製品のサポート情報、新商品情報（商品広告など含む）、お買い得情報、講習会やキャンペーンのご案内などをメールマガジンにてお届けいたします。
※携帯電話・FAXでのメールアドレスのご登録はご遠慮ください。

チェック!!

NEC121コンタクトセンターに技術的なお問い合わせをする際は、「お客様登録番号」が必要になります。「お客様登録番号」はインターネットで登録された場合、121ware.comのマイアカウントに表示されます。「NECオンラインお客様登録」または「FAX（お客様登録申込書）」で登録された場合は、Eメールまたは郵送でお知らせしています。

参照

インターネットに接続する方法→電子マニュアル「ぱそガイド」-「インターネットと電子メール」-「インターネットに接続する」

お客様登録の方法について

「インターネット」による登録をおすすめします。
お客様登録をしながら、NEC パーソナル商品総合情報サイト「121ware.com」でさまざまなサービス&サポートをご利用するための「ログインID」も同時に取得できます。

下記の方法からいずれかひとつをお選びください。

1.インターネットで登録する

インターネットに接続して、NEC のパーソナル商品総合情報サイト「121ware.com」のマイアカウントから登録していただく方法です。
http://121ware.com/my/　へアクセス
詳しくは「お客様登録ガイド」をご覧ください。

2.「NEC オンラインお客様登録」で登録する

[ご注意]ISDN・ADSL・CATV・光ファイバー等の回線および携帯電話・PHSの接続では、オンライン登録できませんので、他の方法でご登録ください。

専用のソフトウェア「NECオンラインお客様登録」を使って登録する方法です。登録はパソコン本体に内蔵のモデムと電話回線を使用してフリーコールで行われますので、インターネット接続環境をまだお持ちでない方もご利用できます。
詳しくは「お客様登録ガイド」をご覧ください。

3.「FAX(お客様登録申込書)」で登録する

商品に添付されている専用FAX用紙を使って登録する方法です。
詳しくは「お客様登録申込書」をご覧ください。

これで、パソコンの準備はOK!

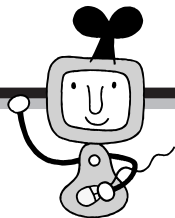
チェック!!

- 「NEC オンラインお客様登録」または「FAX」で登録された方が121ware.comのサービスをご利用するには、Eメールまたは郵送でご連絡いたします「お客様登録番号」が届き次第、インターネットにてログインIDを取得していただくことになりますので、あらかじめご了承ください。
- パソコンにはじめて触れる方や文字入力に自信がない方は、このパソコンに入っている学習ソフト「パソコンのいろはII」で文字入力を練習してから、登録することをおすすめします。

参照

- 「121ware.com」について→『121ware ガイドブック』
- 「パソコンのいろはII」の使い方→PART4 の「パソコンの基本操作を学ぶ」(p.48)
- インターネットに接続する方法→電子マニュアル「ぱそガイド」-「インターネットと電子メール」-「インターネットに接続する」

次のページに進んで、正しい電源の入れ方と切り方を覚えておきましょう。

電源の入れ方と切り方

正しい電源の入れ方と切り方を、覚えておきましょう。大切なデータやパソコンを守るために、正しい手順で操作してください。

チェック!!

電源を入れる操作は、電源が切れてから5秒以上の間隔を空けて行ってください。

参照

電源スイッチを押しても電源が入らない場合→『困ったときのQ&A』PART1の「電源のオン/オフ」

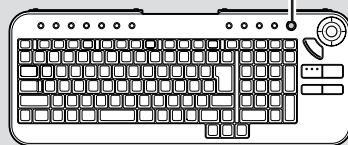
電源を入れる

1 他の周辺機器を接続している場合は、それらの電源を入れる

2 パソコン本体の電源スイッチを押して、パソコン本体の電源を入れる

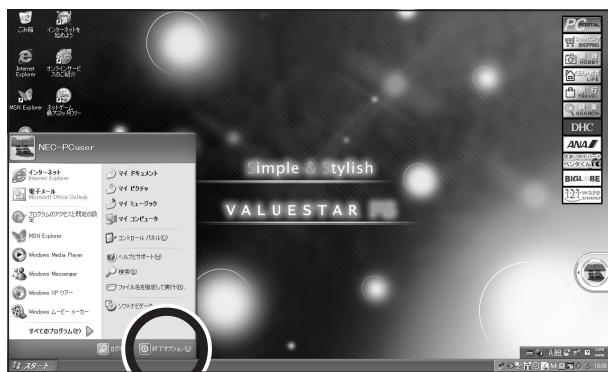
パソコン本体前面の電源ランプが緑色に点灯します

キーボードの電源スイッチを押してパソコン本体の電源を入れることもできます。

1～2分後に次の画面が表示される

ユーザーパスワードの設定をしたり、ユーザーを2人以上登録すると、Windows起動時に、ユーザー選択の画面が表示されるようになります。この場合は、起動するユーザーの名前をクリックし、必要であればパスワードを入力してください。左の画面が表示されます。

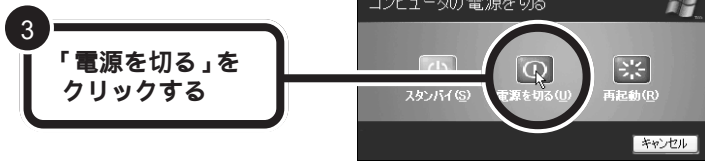
電源を切る

パソコンの内部には突然電源を切ってしまうと具合が悪い部品やソフトも入っています。次の手順にしたがって電源を切ると、これらの部品やソフトの動作終了を自動的にチェックして、安全に電源を切ることができます。

1 画面左下にある「スタート」をクリックする

チェック!!

電源を切る前にデータを保存し、ソフトを終了しておいてください。
電源を切るときは、電源スイッチを押さずに、ここで説明する手順で操作することをおすすめします。
キーボードの操作ができなくなったなど、左の方法で電源が切れないときは、電源スイッチを 4 秒以上押し続けることで電源を切ることができます。ただしパソコンに負担がかかるので通常はつかわないでください。

スタートメニュー

画面左下にある「スタート」(「スタート」ボタンと呼びます)に矢印を合わせ、左のクリックボタンを 1 回押すと、スタートメニューが表示されます。スタートメニューから「終了オプション」を選ぶと、パソコンの電源を切ることができます。また、ソフトウェアを利用したり、いろいろな設定を行ったりするときにも利用できます。

自動的にパソコン本体の電源が切れ、パソコン本体の電源ランプが消えます。

4 他の周辺機器を接続している場合は、それらの電源も切る

電源が切れなくなってしまったときは

「電源を切る」(p.37)の手順で電源が切れなくなってしまった場合は、パソコン本体の電源スイッチを約4秒以上押しつづけると、強制的に電源を切ることができます。
強制的に電源を切った後に、5秒以上待ってからもう一度電源スイッチを押してパソコンの電源を入れ、「電源を切る」(p.37)の手順で正しく電源を切り直してください。

チェック!!

この方法で電源を切ると、パソコンに負担がかかります。パソコンが起動しなくなる可能性もあります。どうしても電源が切れない場合以外は、この操作は行わないでください。
電源を入れ直したときに、「チェックディスク」の画面が表示された場合は、画面の指示にしたがって操作してください。

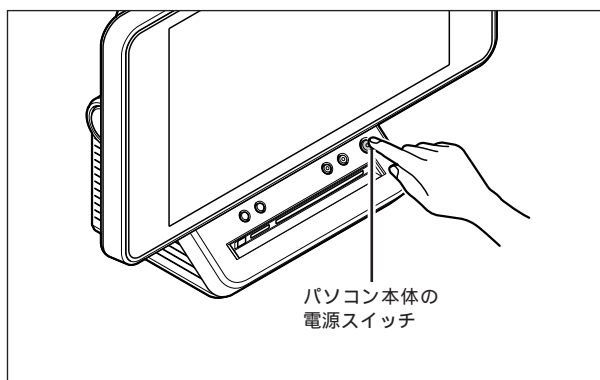
参照

強制的に電源を切る→『困ったときのQ&A』PART1の「電源のオン/オフ」

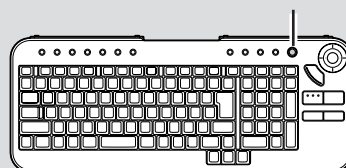
省電力機能について

キーボードのキーまたはボタン、トラックボールに触れない状態が一定時間続くと、トラックボールを動かしても何も反応しなくなったり、画面が真っ暗になったりします。これは、無駄な電力を使わないように、省電力機能が働いたためです。
この場合、次の操作をすることで、トラックボールを使えるようにしたり、画面を表示させる(省電力状態になる前の状態に戻す)ことができます。

・トラックボールを動かしても反応しなくなったとき
トラックボールに触れない状態が約1分以上続くと、トラックボールの光学式センサーが赤く点滅します。この状態でキーボードのキーやボタン、トラックボールに触れない状態がさらに10分以上続くと、トラックボールの光学式センサーが消灯して、トラックボールを動かしても反応しなくなります。この場合、キーボードのいずれかのキーまたはボタンを押すと、トラックボールの光学式センサーが赤く点灯し、トラックボールが使えるようになります。

・画面が真っ暗になったとき
キーボードのキーまたはボタン、トラックボールに触れない状態が20分以上続くと、自動的に画面が真っ暗になります。この場合、パソコン本体前面の電源スイッチを押すと、画面が表示されます。

それでも画面が表示されないときは、ディスプレイの省電力機能が働いていることが考えられます。その場合は、トラックボールを軽く動かしてください。

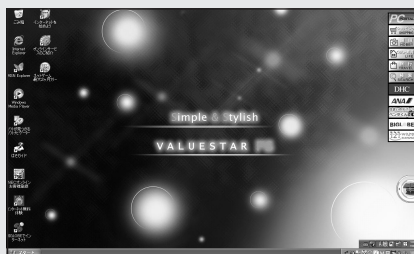
キーボードの電源スイッチを押しても省電力状態になる前の状態に戻せます。

参照

省電力機能について→電子マニュアル「ぱそガイド」-「パソコンの設定」-「パソコンの機能」-「省電力機能の設定」、『パソコン機能ガイド』PART4の「省電力機能」

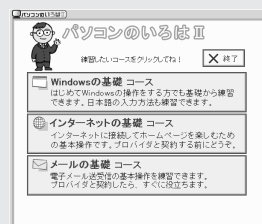
これからの進め方

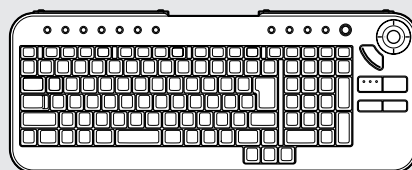
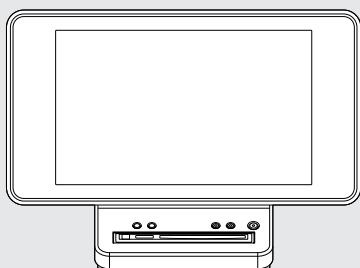
ここまでで、このパソコンを使う準備は整いました。
このページでは、これからの進め方をチェックしてみましょう。

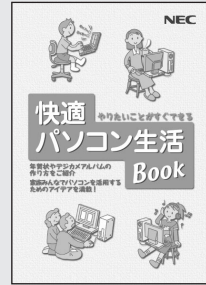
パソコンの画面について知りたい

PART4の「デスクトップってなに？」（p.44）では、パソコンの画面全体（デスクトップ）にあるアイコンの名前や使いかた、デスクトップ左下にある「スタート」をクリックすると表示されるスタートメニューの使いかたについて説明しています。

パソコンの基本操作を学習したい

このパソコンには、ソフトを操作しながらパソコンやインターネット、メールの基本的な使い方を学習するソフト「パソコンのいろはII」があります。

参照
「パソコンのいろはII」の使いかた→ PART4 の「パソコンの基本操作を学ぶ」（p.48）

パソコンの各部の名前と働きを知りたい

PART4の「各部の名称と役割を覚えよう」(p.53)では、パソコン本体やキーボードの各部の名前や働きについて説明しています。

パソコンを活用したい

このパソコンには、パソコンを使いこなすためのヒントがたくさん記載されている『快適パソコン生活Book』が添付されています。「パソコンで何ができるの？」、「やりたいことがあるけどどうしたらいいの？」そんなときは『快適パソコン生活 Book』をご覧ください。

インターネットをはじめたい

「付録　ここからはじめるインターネット＆メール」（p.61）では、インターネットをはじめる前に必要な準備やインターネットが利用できるまでの流れを分かりやすく説明しています。これからインターネットをはじめたいかたも、すでにインターネット利用していてブロードバンドをはじめたいかたも、まずはこちらをご覧ください。

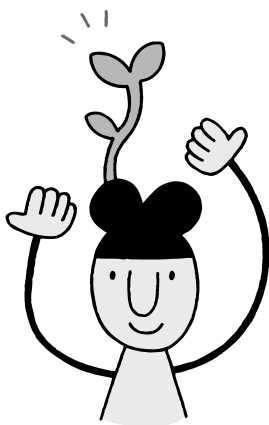
買い換えたパソコンを快適に使いたい

「付録　パソコン引っ越しガイド」（p.77）では、パソコンを買い換えたかたが、新しいパソコンを今までのパソコンと同じように使いはじめられるようにする方法を説明しています。「インターネットの「お気に入り」やメールの設定をそのまま使いたい」、「新しいパソコンでも周辺機器を使い続けたい！」そんなかたは、こちらをご覧ください。

PART

4

パソコンを使いはじめよう

いよいよ本格的にパソコンを使いはじめます。デスクトップやスタートメニュー、CD-ROM（シーディーロム）などの使い方をマスターしてください。

デスクトップってなに？

このパソコンの画面全体をデスクトップといいます。
このデスクトップが、パソコンを使うための舞台になります。Windows XP（ウィンドウズ　エックスピー）は、いろいろなソフトを動かすためのベースになるソフトですが、この「デスクトップ」がWindows XPの顔なのです。

インターネットを始めよう
インターネットプロバイダに入会するためのオンラインサインアップソフトを起動できます。詳しくは、この後の「付録　ここからはじめるインターネット & メール」をご覧ください。

オンラインサービスのご紹介
インターネット電話や121@storeでのインターネットショッピングなど、オンラインサービスの紹介を見ることができます。

BIGLOBE(ビッグローブ)でインターネット
NEC が運営するプロバイダ、BIGLOBE でインターネットをはじめましょう。BIGLOBE のインターネット接続サービスなどの内容を説明しています。また、ここからこれらのサービスに入会したり、インターネット接続の設定を行ったりできます。詳しくは、この後の「付録　ここからはじめるインターネット & メール」をご覧ください。

「ごみ箱」
いらないファイルやフォルダは、ここに捨てます。

「ぱそガイド」
ここをダブルクリックすると、このパソコンの電子マニュアル「ぱそガイド」を見ることができます。

「NECオンラインお客様登録(ユーザ登録)」
ここをダブルクリックしてお客様登録を行うことができます。登録後は、このアイコンは消えます。詳しくは『お客様登録ガイド』をご覧ください。

「PC ポータル」
インターネット上のさまざまな情報への入り口です。
詳しくは、電子マニュアル「ぱそガイド」-「アプリケーションの紹介と説明」-「50音別目次」をご覧ください。

「ファミリーリング」
ここに（矢印）を合わせて表示される画面から、このパソコンを使うユーザーを切り替えることができます。詳しくは、『快適パソコン生活 Book』をご覧ください。

「スタート」
「スタート」をクリックすると、スタートメニューが表示されます。ここから、ソフトを起動したり、いろいろな設定をしたり、ファイルを探したり、Windows XP を終了したりできます（p.46）。

アイコン
ソフトなど、よく使うファイルが小さい絵(アイコン)で表示されます。アイコンをダブルクリックすると、ソフトを起動したり、ファイルを開いたりできます。

タスクバー
起動しているソフトや、開いているウィンドウなどがボタンで表示されます。

通知領域
いろいろな設定のためのアイコンやソフトのアイコンが並んでいます。詳しくは電子マニュアル「ぱそガイド」で、各ソフトの使い方をご覧ください。

チェック!!
デスクトップ上のアイコンは、モデルによって異なります。

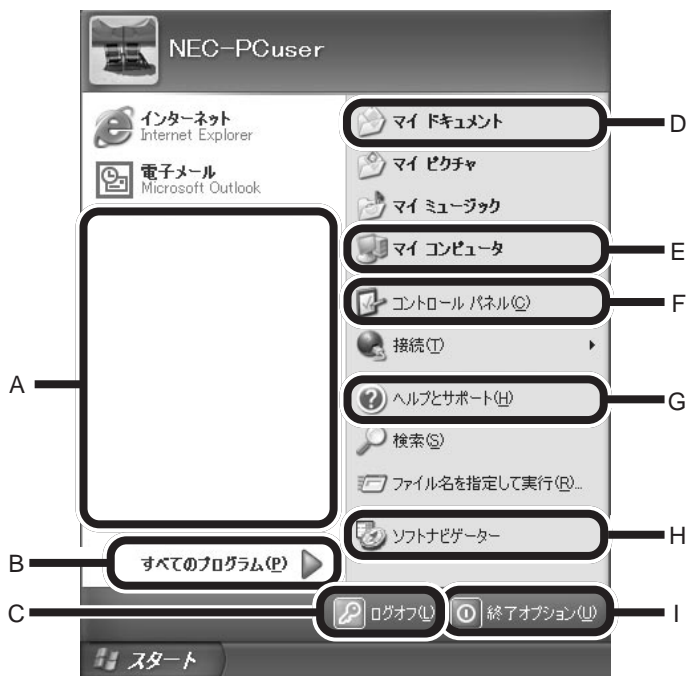
NEC が運営するインターネットプロバイダ、BIGLOBE については、『はじめよう！ブロードバンド インターネット活用ブック』も合わせてご覧ください。BIGLOBE のサービス内容と入会手順が詳しく説明されています。

参照
電子マニュアル「ぱそガイド」の使い方→『快適パソコン生活 Book』

チェック!!
PCポータルは、インターネット接続の準備ができていない場合、それぞれ次のようなページが表示されます。
- ジャンル別メニューをクリックしたとき、またはポイントしたとき→ハードディスクに保存されている、各ジャンルに応じた企業別のご紹介ページのリンク集
- 「検索」をクリックしたとき→「[PC ポータル] BIGLOBE サービスのご紹介」画面
- 各企業別の絵柄部分をクリックしたとき→ハードディスクに保存されている、各企業別のご紹介ページまたは「[PC ポータル] BIGLOBE サービスのご紹介」画面

通知領域のアイコンが見えない場合は、をクリックすると隠れているアイコンを表示できます。

スタートメニューを見る

「スタート」をクリックすると、スタートメニューが表示されます。スタートメニューから、ソフトを起動したり、このパソコンの設定をしたり、ファイルを探したり、Windows を終了したりできます。

A 最近使用したソフトへのショートカットが自動的に登録されていきます。

B すべてのプログラム(P)

このパソコンに入っているソフトを起動できます。

C ログオフ(L)

ログオフまたはユーザーの切り替えができます。

参照

ログオフとユーザーの切り替えについて→Windowsの「ヘルプとサポート」

D マイ ドキュメント

ソフトを使って自分が作成したファイルを保存しておく場所です。

E マイ コンピュータ

ハードディスクやCD/DVDドライブなど、このパソコンの中身を見ることができます。

F コントロール パネル(C)

画面や音量など、パソコンの設定を必要に応じて変更できます。

G ヘルプとサポート(H)

パソコンを使っていてわからないことがあったり、Windowsの機能について知りたかったりするときにヒントとなる情報があります。

H ソフトナビゲーター

このパソコンに入っているソフトを目的や名前から探し出し、起動できる「ソフトナビゲーター」を表示できます。ソフトの詳しい説明を見たり、ソフトを削除することもできます。

I 終了オプション(U)

このパソコンの電源を切るときは、ここをクリックして表示される画面で「電源を切る」をクリックします。また、ここからパソコンを再起動したり、省電力状態にすることもできます。

Windows XPの場合、マイドキュメントにはいくつか種類があります。ここに表示されるものは、C:\Documents and Settings\<ユーザー名>\My Documentsフォルダ内にあるものと同じです(ユーザー名には基本的にはあなたが設定したユーザー名が入ります)。

チェック!!

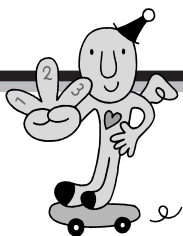
「ヘルプとサポート」の項目の中には、クリックするとインターネットに接続するものがあります。問題が解決したら必ずインターネットから切断してください。画面右下の通知領域のインターネット接続アイコンを右クリックして表示されるメニューの中から「切断」をクリックしてください。
「インターネットエクスプローラ」「ヘルプとサポート」「ぱそガイド」の画面を閉じてもインターネット接続は切断されない場合があります。

参照

「ソフトナビゲーター」の使い方→『快適パソコン生活Book』

参照

省電力機能について→電子マニュアル「ぱそガイド」-「パソコンの設定」-「パソコンの機能」-「省電力機能の設定」、『パソコン機能ガイド』PART4の「省電力機能」

パソコンの基本操作を学ぶ

**このパソコンには「パソコンのいろはII」というパソコン学習ソフトが入っています。
はじめてパソコンを使う方は、このソフトで基本操作を練習しましょう。**

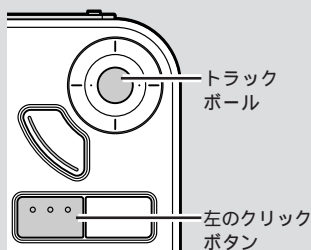
「パソコンのいろはII」ってなに？

■「パソコンのいろはII」とは？

「パソコンのいろはII」は、ソフトを操作しながらパソコンの基本を学習するソフトです。日本語の入力方法、Windowsの基本やインターネット（Internet Explorer）、メール（Outlook Express）の基本操作について学習できます。
インターネットやメール、Windows の基本操作に慣れていない方は、「パソコンのいろはII」で学習してみましょう。

参照

「パソコンのいろはII」について→電子マニュアル「ぱそガイド」-「パソコンの練習と基本」-「練習」

「パソコンのいろはII」に出てくる、マウスを使った操作の練習は、キーボード右上にあるトラックボールと左のクリックボタンを使って行えます。

トラックボール

左のクリックボタン

- クリック：
  左のクリックボタンを 1 回押します。
- ドラッグ：
  動かしたいものに矢印（ ）を合わせて左のクリックボタンを押し、そのままボタンから指を離さずにトラックボールを動かして、適当な位置まで動かしたら、左のクリックボタンから指を離します。

トラックボールの使い方については、電子マニュアル「ぱそガイド」-「パソコンの練習と基本」-「お助け操作集」-「マウス / トラックボール」をご覧ください。

「パソコンのいろはII」をはじめる

「パソコンのいろはII」をはじめる前に、次のことを確認してください。

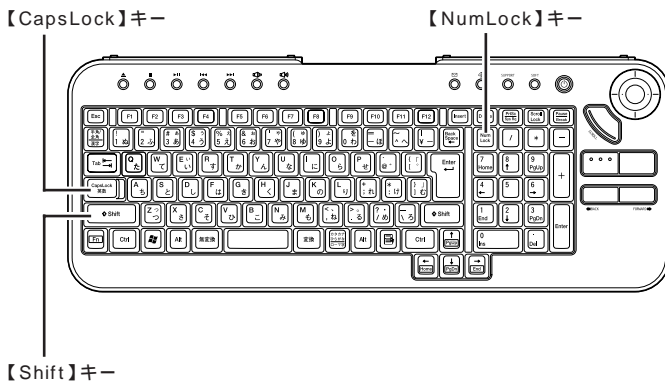
●あらかじめ「Outlook Express」の設定を済ませておく

Outlook Expressの設定が済んでいないと、「メールの基礎」の練習を行うことができません。それ以外の練習を行うことはできますが、Outlook Expressの設定を済ませておくことをおすすめします。

●ニューメリックロックキーランプが点灯していることを確認する

パソコン本体前面のニューメリックロックキーランプ1が消えているときは、キーボードの【NumLock】キーを押してランプを点灯させてください。

●キャップスロックキーランプが消えていることを確認する

パソコン本体前面のキャップスロックキーランプAが点灯しているときは、キーボードの【Shift】キーを押したまま【CapsLock】キーを押してランプを消してください。

●他のソフトを起動しているときは、すべて終了させる

すべて終了しておかないと、「パソコンのいろはII」が正常に動作しなくなることがあります。
準備が終わったら、さっそく「パソコンのいろはII」をはじめましょう。

このパソコンには、「ソフトナビゲーター」というランチャーソフトが添付されています。「ソフトナビゲーター」を使うと、使いたいソフトをやりたいこと別に探すことができます。また、インストールされていないソフトでも、はじめて使うときに自動的にインストールしてくれます。ここでは、「ソフトナビゲーター」を使って「パソコンのいろはII」を起動する方法を紹介します。

参照

Outlook Expressの設定をする→電子マニュアル「ぱそガイド」-「インターネットと電子メール」-「電子メールを使う」

チェック!!

インターネットの設定をされていない方は、「Outlook Express」の設定をする前に「付録　ここからはじめるインターネット＆メール」(p.61)をご覧のうえ、インターネットの設定を行ってください。

参照

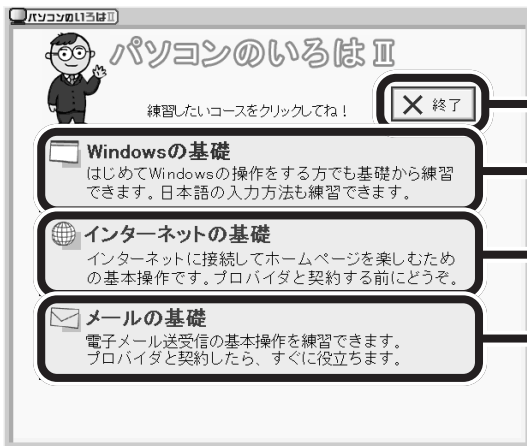
「ソフトナビゲーター」について→『快適パソコン生活Book』

1

デスクトップの（ソフトが見つかるソフトナビゲーター）をダブルクリックする

「ソフトナビゲーター」が起動します。

2

「実用・生活」-「学習」-「パソコンの基礎を学習する」をクリックし、「パソコンのいろはⅡ」が表示されていることを確認して「このソフトを使う」をクリックする

「パソコンのいろはⅡ」のタイトル画面が表示されます。

「パソコンのいろはII」の進め方

「パソコンのいろはII」では、次のような画面でパソコンの基本操作を学びます。

このボタンをクリックすると、現在練習しているコースの目次が表示されます

このボタンをクリックすると、ひとつ先の練習に進みます

このボタンをクリックすると、現在練習している操作手順の先頭に戻ります。続けてクリックすると、ひとつ前の練習に戻ります

- いずれのボタンも、反転表示されているときは、クリックしても次の画面が表示されません。
- 終了 は、つぎへ や 練習スタート が画面に表示されているときにクリックしてください。

「パソコンのいろはII」を終わる

「パソコンのいろはII」を終了しても、どこまで練習を進めたかが自動的に記録されます。次に「パソコンのいろはII」を起動するときは、前回の続きからはじめられます。

●ステップの途中で終了する場合

各ステップの途中でも、「パソコンのいろはII」を終了できます。
練習や説明の途中で終了したときは、コース選択画面で練習したいコースを選んでから、「前回の続きから始める」をクリックすると、中断した練習の最初からはじまります。

1 「終了」をクリックする

2 画面中央に「パソコンのいろはIIを終了します。」と表示されるので、「OK」をクリックする

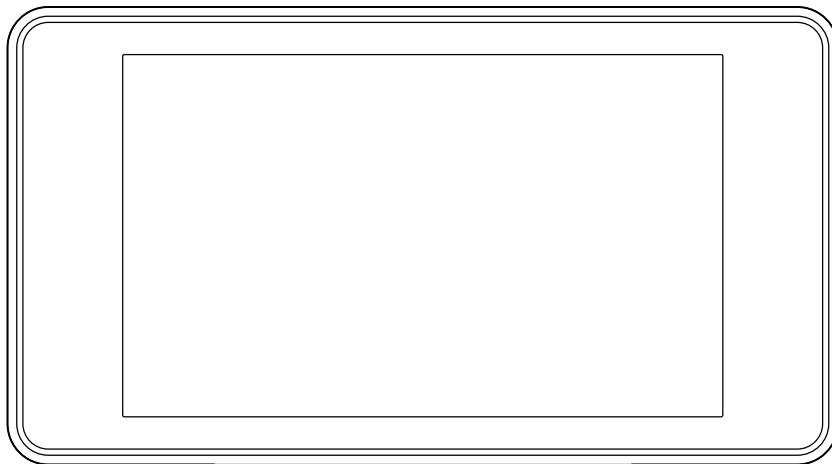
●コース選択画面で終了する場合

1 画面右上の ✕ 終了 をクリックする

画面右上の「終了」をクリックしても「パソコンのいろはII」が終了しない場合は、キーボードの【Esc】を押してください。

各部の名称と役割を覚えよう

ここでは、パソコンを使っていく上で、知っていると便利な機能などを紹介します。

●パソコン本体

電源スイッチ（パソコン本体）

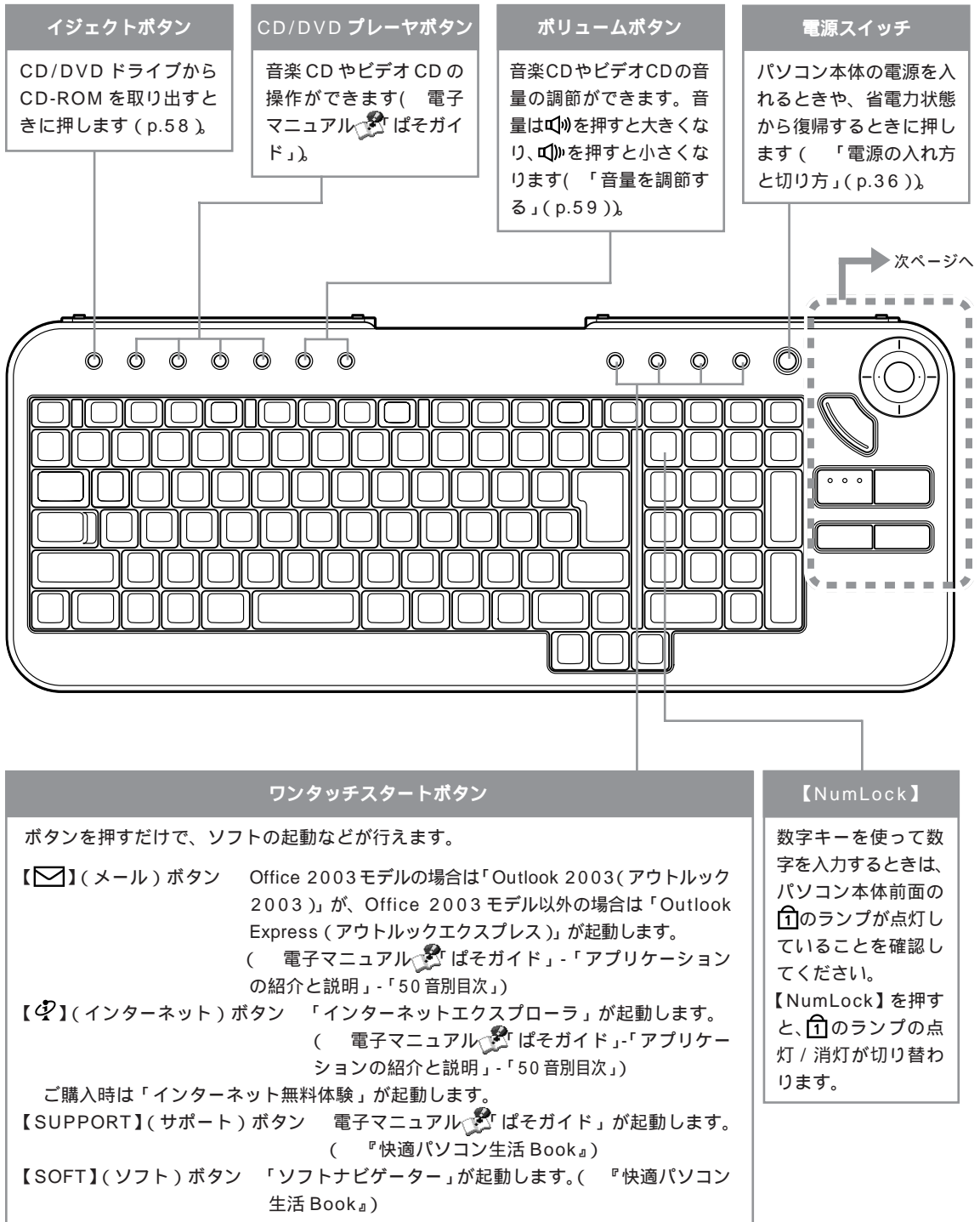
パソコン本体の電源を入れたり、省電力状態から復帰するときに押すボタンです（→「電源の入れ方と切り方」（p.36））。

CD/DVDドライブ

CD-ROMやDVD-ROM、音楽用CDなどをセットするところです（→「CD-ROMなどの扱い方」（p.56））。

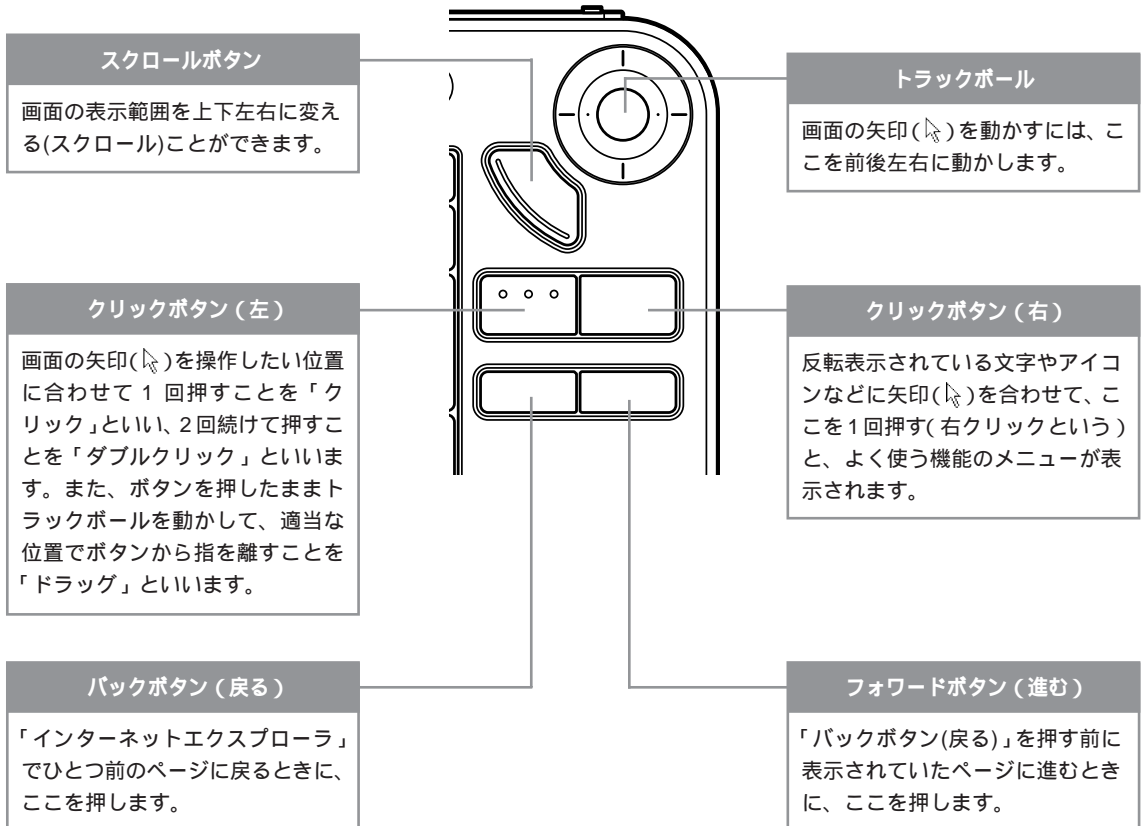
電源ランプ

パソコン本体の電源の状態を表すランプです。電源を入れると緑色に、スタンバイ状態のときはオレンジ色に点灯します。電源を切っているとき、休止状態のときは、消灯します。

●キーボード

ワンタッチスタートボタンで起動するソフトなどの設定は変更できます。
詳しくは、電子マニュアル「ぱそガイド」-「パソコンの設定」-「パソコンの機能」-「ワンタッチスタートボタンの設定」をご覧ください。

●キーボード（右上）

参照

トラックボールの操作のしかたについて→電子マニュアル「ぱそガイド」-「パソコンの練習と基本」-「お助け操作集」-「マウス / トラックボール」

CD-ROM（シーディーロム）などの扱い方

このパソコンのCD/DVDドライブで使えるディスクの種類や取り扱い上の注意、CD-ROMのセットのしかたを説明します。

チェック!!

CD-R/RWにデータを書き込むときには、このパソコンに入っているCD-R/RW書き込みソフト「RecordNow DX」などをお使いください。詳しくは、電子マニュアル「ぱそガイド」-「アプリケーションの紹介と説明」-「50音別目次」をご覧ください。

このパソコンのCD/DVDドライブで使えるディスク

このパソコンでは、次のようなディスクを使えます。

規格	概要
CD-ROM	パソコンで見るための情報が入ったCD。このパソコンで使えるのは「Windows 95」、「Windows 98」、「Windows Me」、「Windows 2000」、「Windows XP」対応のCD-ROMで、「Macintosh専用」のものは使えません。
CD-R/ CD-RW	データ書き込みが可能なCD。このパソコンで書き込みできます。
音楽CD	一般の音楽CDのことです。
ビデオCD カラオケCD	音声と動画が記録されたCDです。
DVD-ROM	CD-ROMの約7倍（片面一層の場合）の量のデータを記録できるディスクです。百科事典や地図が記録されているものなどがあります。
DVD-Video	映画やドキュメンタリーが高画質、高音質で記録されているDVDです。
DVD-R DVD-RW DVD-RAM	データ書き込みが可能なDVD。このパソコンで書き込みできます。

Windows 2000対応のほとんどのCD-ROMは、Windows XPで使うことができます。Windows 95/98/Me対応のCD-ROMは、Windows XPで使えるものとそうでないものがあるので、ご購入前に確認してください。

MacintoshでもWindowsでも使えるように作られた「ハイブリッドCD」というCDもあります。

チェック!!

- コピーコントロールCDなどの一部の音楽CDは、現在のCompact Discの規格外の音楽CDです。規格外の音楽CDやDVDについては、再生や音楽CDの作成等ができないことがあります。
- このパソコンで音楽CDを使用する場合、ディスクレーベル面にCompact Discの規格準拠を示す[CDロゴ] COMPACT disc DIGITAL AUDIO マークの入ったディスクを使用してください。
- CD（Compact Disc）規格外ディスクを使用すると、正常に再生ができなかったり、音質が低下したりすることがあります。

参照

このパソコンのCD/DVDドライブで使えるディスクについて→『パソコン機能ガイド』PART4の「CD/DVDドライブ」

CD-ROMの取り扱い上の注意

・信号面（文字などが印刷されていない面）に手を触れないでください。
・ディスクにラベルを貼ったり、傷を付けたりしないでください。また、ラベル面に文字を書く場合にはペン先の柔らかいもの（フェルトペン等）で書くようにしてください。
・上に重いものを載せたり、曲げたり、落としたりしないでください。
・汚れたときは、やわらかい布で内側から外側に向けて拭いてください。
・清掃の際はCD専用のスプレーをお使いください。
・ベンジン、シンナーなどで拭かないようにしてください。
・ゴミやホコリの多い場所での使用は避けてください。
・直射日光のあたる場所や、温度の高い場所に保管しないでください。

使用後は、収納ケースに入れるようにしてください。

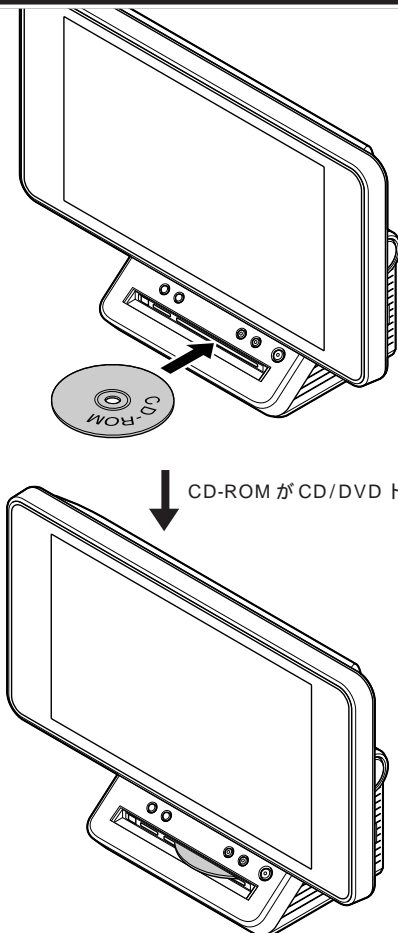
CD-ROMの入れ方と出し方

●CD-ROMを入れる方法

DVD-ROM、CD-R/RW、DVD-R/RW、DVD-RAMなど他のメディアも、基本的な取り扱い方はCD-ROMと同じです。

チェック!!

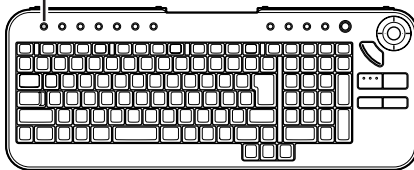
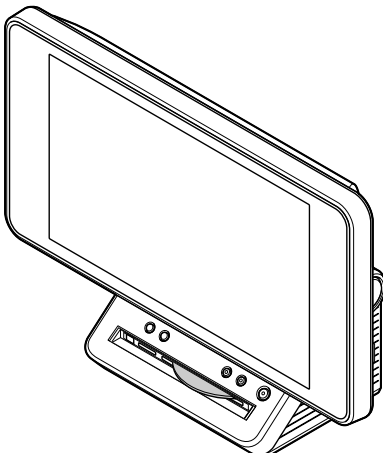
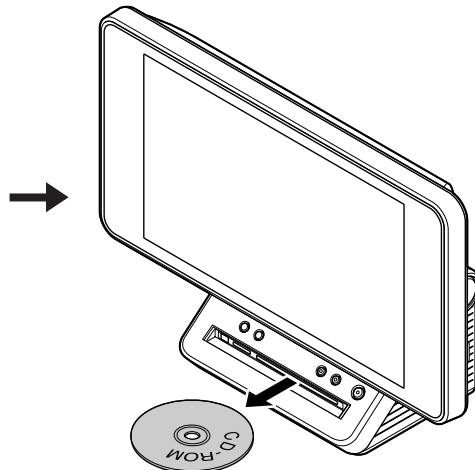
このパソコンでは、直径12cmのCD以外（CDシングル（直径8cmのCD）など）は使えません。
また故障の原因になりますので市販のCDシングル用アダプタは使わないでください。

1 CD-ROMのラベル面（文字などが印刷されている面）を上にして、CD/DVDドライブに軽く押し込む。

CD-ROMがCD/DVDドライブに収まります。

CD-ROMをセットしたら…

セットしたCD-ROMによっては、マウスポインタが の形に変わり、しばらくすると右のような画面が表示されます。このとき、使うソフトを目的に合わせて選び「OK」ボタンをクリックすると、選択したソフトが起動し、CD-ROMの中身を見ることができます。
画面が表示されないときは、マイコンピュータの （CDアイコン）をダブルクリックして中身を確認できます。

●CD-ROMを取り出す方法

1 キーボードのイジェクトボタンを押す

📖参照

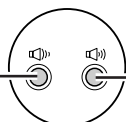
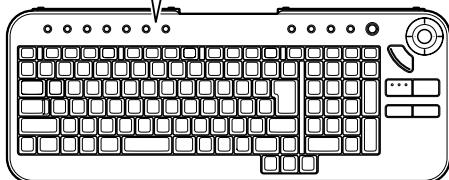
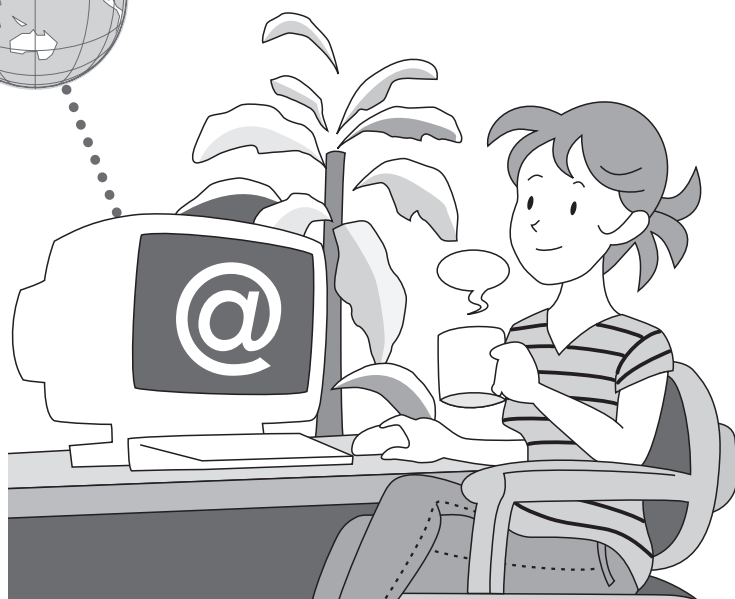
イジェクトボタンを押してもCD-ROMが出てこない場合→『困ったときのQ&A』PART1の「その他」

チェック!!

- ディスクの種類によって、イジェクトボタンを押したときのCD-ROMの飛び出し方は異なります。
- 取り出すときに、CD-ROMを落としたり、キズつけたりしないように注意してください。

音量を調節する

パソコンから出る音がうるさいときや、小さくて聞こえないときは、音量を調節できます。

1 🔉ボタンまたは🔊ボタンを押す

付　録
ここからはじめる インターネット ＆ メール

これからインターネットをはじめたい、すでにインターネットを利用している、ブロードバンドを楽しみたい・・・など、インターネットの利用状況や目的はさまざまで、「インターネットをはじめたいけれど、何をすればいいのかわからない」、「どんなインターネット接続サービスがあるのか知りたい」、「インターネットにうまくつながらない」など、インターネットについて「知りたいこと」や「困ったこと」も人それぞれです。

ここでは、インターネットをはじめる前に必要な準備やインターネットが利用できるまでの流れをわかりやすく説明しています。

インターネットにはどうやってつながるの？

インターネットでは、インターネット回線を通してホームページを見たりメールをやりとりすることで、世界中の情報に接続できます。
ご家庭のパソコンをインターネットにつなぐためには、インターネットにつないでくれる会社(プロバイダ)に加入する必要があります。
また、ホームページを見たり電子メールをやりとりするときは、このパソコンに入っている専用のソフトが必要です。

■インターネット回線

パソコンとインターネットをつなぐ回線のことで、一般の電話回線のほか、ケーブルテレビのケーブルや光ファイバーなどを使います。回線の種類によっては、インターネットにつなぐために別売の装置(ADSLモデムやターミナルアダプタなど)が必要です。

■プロバイダ

パソコンをインターネットにつないでくれる会社のことです。プロバイダに加入すると、サービスに応じた接続料金がかかります。また、契約条件によっては接続料金とは別に電話回線の通話料がかかることがあります。
プロバイダでは、インターネットを使う目的や利用時間に合わせて、さまざまなサービス内容や料金体系を設定しています。

■ソフト

インターネットにつないでホームページを見たり、電子メールのやりとりをするには、専用のソフトが必要です。
このパソコンには次のソフトが添付されています。

- Internet Explorer
  インターネットでホームページを見るためのソフトです。
  ウェブブラウザとも呼ばれています。

- Outlook 2003(Office 2003モデルのみ)
- Outlook Express
  電子メールのやりとりをするソフトです。

電子マニュアル「ぱそガイド」について

このパソコンには、画面上で見るマニュアル「ぱそガイド」が入っています。デスクトップにある(ぱそガイド)をダブルクリックすると表示されます。

パソコンやインターネットの用語集です。分からない言葉が出てきたら、こちらをご覧ください。

「ぱそガイド」の使い方を調べることができます。

インターネットやメールの基本操作についての説明や、インターネットやメールの基本操作を学習できるソフト「パソコンのいろはII」について説明しています。

インターネット無料体験からインターネットの接続や設定、メールの使い方など、インターネットとメールが使えるようになるまでを説明しています。さらにインターネットを使いこなす方法も説明しています。

インターネットやメールの設定や接続例について説明しています。

インターネットにつながらないなどのトラブルを解決する方法や、よくあるエラーメッセージとその対処法について説明しています。

インターネットが利用できるまでのステップ

パソコンでインターネットが利用できるまでのステップは、おおよそ次の通りです。インターネット回線の種類は何か、プロバイダに加入しているかどうかなどにより、この後の手続きや設定は異なります。ここから先は、インターネットの利用状況に合わせて読み進めてください。

これからインターネットを始めたい

すでにインターネットを始めている

入会する前にインターネットを体験してみたい

Yes

「インターネット無料体験」を利用しよう

このパソコンには、気軽にインターネットを無料体験(電話代別)できるソフト「インターネット無料体験」が入っています。
→「「インターネット無料体験」について」(p.65)

No

インターネット回線の申し込みとプロバイダへの加入手続きをする

インターネット回線の申し込みとプロバイダへの加入手続きをします。サービスの種類によっては、プロバイダへの加入手続きが不要だったり、プロバイダと回線事業者の両方への加入手続きが必要になります。プロバイダまたは回線事業者に確認してください。
→「インターネット回線を申し込む」(p.66)、「プロバイダに加入する」(p.68)

パソコンをインターネット回線に接続して、インターネット接続の設定をする

申し込みや加入手続きが済んで、ユーザIDなどのインターネット接続に必要な情報やモデムなどのネットワーク機器が揃ったら、パソコンをインターネット回線に接続します。接続が終わったら、パソコンでインターネット接続の設定を行います。
→「インターネット回線に接続する」(p.71)、「インターネット接続の設定を行う」(p.74)

インターネットに接続!

接続と設定が終わったら、いよいよインターネットに接続します。もしもインターネットにうまくつながらないときは、接続や設定が行われているかどうかをもう1度確認してください。
→「インターネットに接続する」(p.75)、「インターネットこんなトラブル」(p.75)

セキュリティ対策は万全に

インターネットには危険がいっぱい。コンピュータウイルスに感染したり、不正侵入されたりしないようにしっかりセキュリティ対策をしましょう。
→「セキュリティについて」(p.76)

「インターネット無料体験」について

このパソコンには、気軽にインターネットを無料体験[※1]できるソフト「インターネット無料体験」が入っています。体験を開始した日から14日間無料[※2]で体験できるため、これからインターネットをはじめたい方や楽しみたい方におすすめです。デスクトップにある(インターネット無料体験)をダブルクリックすると、専用ソフトが起動します。

また、インターネット無料体験を始めるには、添付のモジュラーケーブルを使ってパソコンを電話回線に接続する必要があります。詳しくは、「インターネット回線に接続する」(p.71)をご覧ください。

※1　電話料金は別途かかります。
※2　有効期限は2006年3月31日までです。

インターネット回線を申し込む

■インターネット回線にはどんなものがあるの？

おもなインターネット回線には次のものがあります。回線の種類によって、インターネットにつながる速度や利用できるサービスはさまざまです。

アナログ回線

一般の電話回線（アナログ回線）を使ったインターネット回線のこと。パソコン本体内蔵のモデムを使います。

○ ・パソコンを電話回線につなぐだけで利用できる
・すぐにインターネットが利用できる（オンラインサインアップの場合）

× ・インターネットにつないでいるときには、電話をかけられない
・インターネットにつながる速度が遅い（またはつながりにくい）

ISDN回線
（アイ・エス・ディー・エヌ）

一般の電話回線（アナログ回線）をデジタル化したインターネット回線のこと。

○ ・インターネットと電話が同時に利用できる

× ・TA（ターミナルアダプタ）などのISDN対応機器が必要
・現在アナログ回線を使っている場合は、ISDN回線への切り替え工事が必要

ADSL
（エー・ディー・エス・エル）

一般の電話回線（アナログ回線）を使った高速なインターネット回線のこと。

○ ・一般の電話回線をADSL用に切り替えるだけで利用できる
・サービスを提供している会社が多く、サービス内容など選択肢が多い

× ・一部利用できない地域がある、また、建物の状況などにより利用できないことがある
・利用できるまでに時間がかかることがある（約1週間〜1カ月）

CATV
（ケーブルテレビ）

ケーブルテレビの、ケーブルを使った高速なインターネット回線のこと。

○ ・ケーブルテレビにすでに加入している場合は、比較的安く、簡単に利用できる

× ・ケーブルテレビのサービスが提供されていない地域では利用できない。また、サービスが提供されていても、建物の状況などにより利用できないことがある。

FTTH
（エフ・ティー・ティー・エイチ）

光ファイバーを使った高速なインターネット回線のこと。

○ ・現在提供されているインターネット回線の中では、スピードは1番

× ・サービスが提供されていない地域では利用できない。プロバイダが対応している必要がある。
・料金が比較的高い

ブロードバンドってなに？

ブロードバンドとは「広帯域」の意味で、これまで主流だったアナログモデムにくらべて、10〜1,000倍以上の速さでインターネットに接続できるサービスのこと。サイズの大きなファイルをダウンロードしたり、画像がいっぱいのホームページを表示するのに時間が短くてすむほか、ほとんどが常時接続（定額料金でインターネットを24時間使い放題）のため、いつでも好きなだけインターネットを楽しめます。今もっとも注目されているのは、ADSLやCATV、FTTHの3種類のサービスです。

プロバイダに加入する

■プロバイダに加入するには？

プロバイダに加入するには、主に次のような方法があります。

1. パソコンを電話回線につないで、このパソコンに入っている専用の登録ソフトを使って申し込む
2. パソコンショップや電器店、書店などに置いてあったり、パソコン雑誌に付いている、加入用CD-ROMを使って申し込む
3. 申し込み用紙を店頭でもらったり、プロバイダから取り寄せて、電話窓口や郵送、FAXで申し込む

1～2の電話回線を使ってパソコンからプロバイダに加入する方法をオンラインサインアップといい、ほとんどの場合この方法でプロバイダに加入します。
このパソコンには、1の方法でプロバイダに加入するためのソフトがいくつか用意されています。加入できるプロバイダの種類が多く、インターネットが利用できるまでの期間が短くて済むため、これからプロバイダに加入する場合は、次に紹介する方法で申し込むことをおすすめします。

申し込む前に確認

「利用したいサービスが見つかったので、すぐに申し込みたい」でもちょっと待って!インターネットを利用する場所や建物の状況、パソコンの設置場所などによっては、利用できないサービスがあります。申し込む前に、自分の住んでいる地域でサービスが利用できるかどうかをプロバイダや事業者などに問い合わせてください。また、集合住宅の場合はオーナーまたは管理組合の承諾が必要となることがありますので、こちらも確認してください。

NECおすすめのプロバイダ「BIGLOBE（ビッグローブ）」に加入する

とくにプロバイダを決めていない方は、NECおすすめのプロバイダ「BIGLOBE（ビッグローブ）」に加入することを検討してみては？

「BIGLOBE（ビッグローブ）」について

「プロバイダの種類やサービスがいろいろありすぎて、どれを選べばよいのかわからない」そんなときにはNECおすすめのプロバイダ「BIGLOBE（ビッグローブ）」。ブロードバンド対応サービスをはじめとして、サービス内容が充実しており、入会時のうれしいおトクな特典がいっぱいです。きっとあなたにぴったりなサービスが見つかります。詳しくは、『はじめよう！ブロードバンド インターネット活用ブック』をご覧ください。

デスクトップにある（BIGLOBEでインターネット）をダブルクリックして表示される画面で加入手続きが行えます。

チェック!!　**加入手続きを行うには、添付のモジュラーケーブルを使ってパソコンを電話回線に接続する必要があります。詳しくは、「インターネット回線に接続する」（p.71）をご覧ください。**

BIGLOBE以外のプロバイダに入会する

デスクトップにある (インターネットを始めよう)をダブルクリックして表示される画面で加入手続きが行えます。

チェック!! 加入手続きを行うには、添付のモジュラーケーブルを使ってパソコンを電話回線に接続する必要があります。詳しくは、「インターネット回線に接続する」(p.71)をご覧ください。

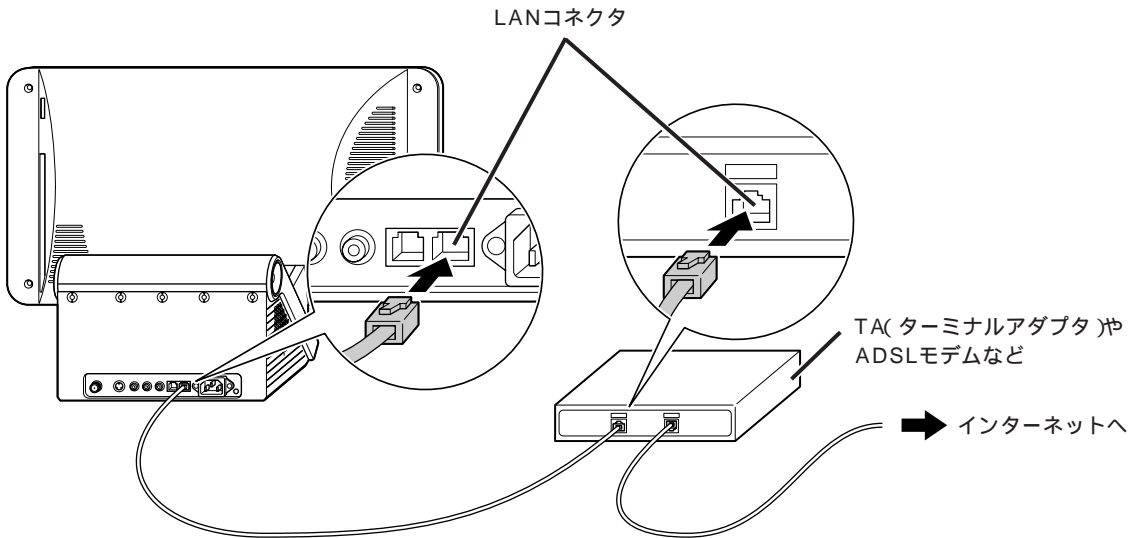
加入できるプロバイダは、次の通りです。(ここからBIGLOBEに加入することもできます)

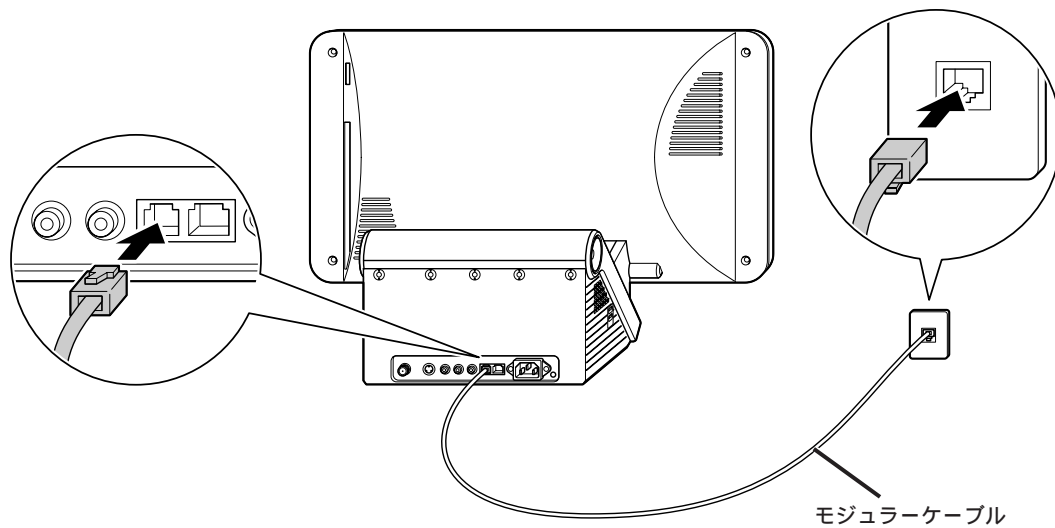
BIGLOBE、AOL、usen(有線ブロードネットワークス)、DION、OCN、ODN、POINT、So-net、@nifty、かるがるネット

インターネット回線に接続する

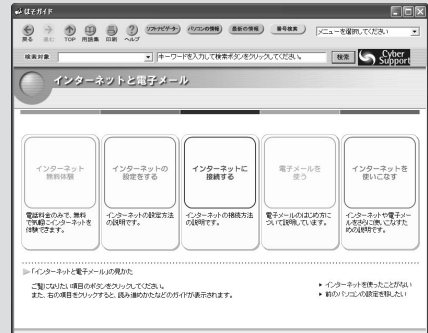
プロバイダへの加入手続きが済んだら、パソコンをインターネット回線につなぎます。回線の種類によって、つなぎ方や必要な機器はさまざまです。詳しくは、ネットワーク機器のマニュアルやプロバイダのホームページなどをご覧ください。アナログ回線に接続する場合は、添付のモジュラーケーブルを使って接続します。

チェック!! 「インターネット無料体験」をしたり、パソコンからプロバイダへの加入するときは、次のページの「アナログ回線の場合」をご覧になり、電話回線に接続してください。

■ISDN回線やブロードバンドの場合

参照　LANコネクタにつなぐ→『パソコン機能ガイド』PART2の「LANコネクタ」

■ アナログ回線の場合

参照　モジュラーコネクタにつなぐ→『パソコン機能ガイド』PART2の「モジュラーコネクタ」

インターネットやメールについては「ぱそガイド」

「ぱそガイド」の「インターネットと電子メール」には、インターネットや電子メールの接続や設定方法はもちろん、さらに使いこなすためのポイントなども記載されています。
さらにインターネットを使ったことがない方や前のパソコンの設定を移したい方には、「インターネットと電子メール」の内容を読み進める順番もガイドされますので、状況に合わせて「ぱそガイド」を活用してください

インターネット接続の設定を行う

プロバイダへの加入手続きが完了してインターネットに接続するために必要な情報や機器がすべて揃っている場合や、すでにインターネットを利用していてこのパソコンでも同じ設定でインターネットを利用したい場合は、パソコンやネットワーク機器をインターネットに接続できるように設定します。

「BIGLOBE(ビッグローブ)」に入会した場合

NECおすすめのプロバイダ「BIGLOBE(ビッグローブ)」に「BIGLOBEでインターネット」(デスクトップの (BIGLOBEでインターネット)をダブルクリックして表示される画面)で入会した場合は、申し込み時にインターネット接続の設定が完了しています。次の「インターネットに接続する」(p.75)へ進んでください。また、すでにBIGLOBEサービス会員の方は、デスクトップの (BIGLOBEでインターネット)をダブルクリックして表示される画面で「インターネット・メールの設定＆家族会員のお申し込み」-「インターネット・メールの設定をする」から設定を行えるようになっています。

■ADSLでインターネットに接続する場合

「ぱそガイド」-「インターネットと電子メール」-「インターネットの設定をする」-「ADSL接続の場合の設定」またはADSLモデムなどネットワーク機器のマニュアルをご覧になり、パソコンとADSLモデムなどのネットワーク機器にインターネット接続の設定を行ってください。

■ダイヤルアップ接続(アナログ回線やISDN回線)でインターネットに接続する場合

「ぱそガイド」-「インターネットと電子メール」-「インターネットの設定をする」-「ダイヤルアップIP接続の場合の設定」またはネットワーク機器のマニュアルをご覧になり、パソコンやネットワーク機器にインターネット接続の設定を行ってください。

■その他の方法(CATVやFTTHなど)でインターネットに接続する場合

ネットワーク機器のマニュアルやプロバイダ(または事業者)の資料やホームページなどを参考にして、パソコンやネットワーク機器にインターネット接続の設定を行ってください。

見慣れない用語が出てきたら

プロバイダや事業者から送られてくる資料やマニュアルだけを読んで接続や設定をしようとすると、見慣れない用語や説明が出てきてとまどうことがあります。パソコンの接続や設定を行うときは、必ずこのパソコンに添付のマニュアルも合わせてご覧ください。「ぱそガイド」-「用語集」にもヒントがあります。

インターネットに接続する

インターネット接続の設定が完了したら、いよいよインターネットに接続します。

■ADSLでインターネットに接続する場合

「ぱそガイド」-「インターネットと電子メール」-「インターネットに接続する」-「ADSLでインターネットに接続する」をご覧ください。

■ダイヤルアップ回線（アナログ回線やISDN回線）でインターネットに接続する場合

「ぱそガイド」-「インターネットと電子メール」-「インターネットに接続する」-「ダイヤルアップでインターネットに接続する」をご覧ください。

■その他の回線（CATVやFTTHなど）でインターネットに接続する場合

ネットワーク機器のマニュアル、プロバイダ（または事業者）から送られてきた書類などでインターネットに接続する方法を確認してください。

メールの設定を行う

インターネット接続の設定が終わったら、メールの設定を行います。「ぱそガイド」-「インターネットと電子メール」-「電子メールを使う」では、このパソコンに入っているメールソフト「Outlook 2003（アウトルック2003）」（Office 2003モデルのみ）や「Outlook Express（アウトルックエクスプレス）」の設定のしかたを説明しています。

インターネットこんなトラブル

■うまくインターネットにつながらない…

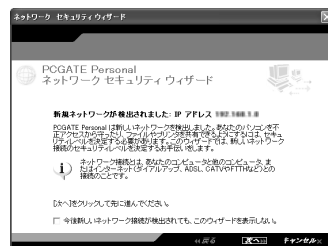
「ぱそガイド」-「インターネットと電子メール」-「インターネットに接続する」-「インターネットQ&A」には、インターネットに関する初歩的なQ&Aが、「ぱそガイド」-「トラブル解決」-「Step2 カテゴリー別Q&A」-「インターネット/通信」では、さらに詳しいQ&Aや、よくあるエラーメッセージとその解決方法の説明があります。

また、「ぱそガイド」-「インターネットと電子メール」-「インターネットを使いこなす」には、インターネット接続に必要な設定例やさらに使いこなすための情報などの説明があります。
その他にも、ダイヤルアップ接続でインターネットにつながらない場合に、内蔵モデムに関する問題を確認できるモデム診断ツールが用意されています。

■「PCGATE Personal ネットワーク セキュリティ ウィザード」画面が表示されたら

インターネット接続の設定やネットワークの設定を行うと、右の「PCGATE Personal　ネットワーク セキュリティ ウィザード」が表示されることがあります。

「PCGATE Personal」は、パソコンへのインターネットを経由した不正アクセスを防ぐことができるソフトです。インターネットやネットワークに接続したときに、この画面が表示されることがあります。この画面では、ネットワークのセキュリティレベルを設定できます。

設定のしかたについては、「ぱそガイド」-「インターネットと電子メール」-「インターネットを使いこなす」-「不正アクセスからパソコンを守るには」をご覧ください。

セキュリティについて

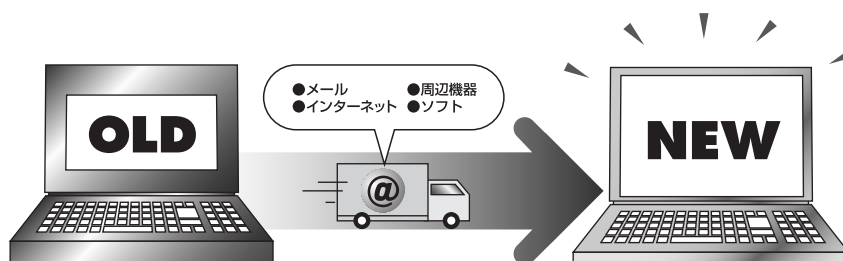
インターネットにつながるようになったら、必ず行ってほしいのがセキュリティ対策。このパソコンには、コンピュータウイルスや不正侵入からパソコンを守るソフトが入っています。

詳しくは、「ぱそガイド」-「インターネットと電子メール」-「インターネットを使いこなす」-「ウイルスとトラブルの予防」をご覧ください。

付　録
パソコン引っ越しガイド

新しく買ってきたパソコンには、インターネットの「お気に入り」や大事なメールアドレス、自分で作ったデータなど、これまで使っていたパソコンにある大切なデータがありません。また、周辺機器やソフトも、できることなら新しいパソコンでも使いたいものです。
ここでは、パソコンを買い換えたかたが、これまで使っていたパソコンと同じように新しいパソコンを使いはじめられるようにする方法を説明しています。

「パソコンの引っ越し」をしよう！

新しく買ってきたパソコンには、インターネットの「お気に入り」や大事なメールアドレス、自分で作ったデータなど、パソコンを使いはじめてからのデータがありません。これまでお使いのパソコンからこれらのデータを移行させれば、このパソコンをこれまでお使いのパソコンと同じように使いはじめることができます。
また、ソフトや周辺機器もこのパソコンに対応していれば、「引っ越し」して使い続けることができます。

これまでお使いのパソコンからこのパソコンへの「引っ越し」とは、次の作業をさします。

・メールの設定や作成したファイルなどのデータを移行する
・周辺機器を新しいパソコンで使えるように移行する
・ソフトを新しいパソコンで使えるように移行する

データを移行するには

ここでは、これまでお使いのパソコンからデータを移行する方法について説明します。
データの移行は、このパソコンに入っている「バックアップ-NX」の乗り換え機能を使います。

どんなデータを移行するの？

次のようなデータはバックアップ-NXで移行できます。

- 「Internet Explorer」のお気に入り
- 電子メールソフト「Outlook Express」のアドレス帳や送受信のデータ
- デスクトップに置かれているデータ
- マイドキュメントに保存されているデータ
- お客様が指定したフォルダに保存されているデータ
- 「筆王」のデータ（アドレス帳、はがきレイアウトなど）

お客様のお持ちのデータと、バックアップ-NXでの対応は次のとおりです。

データの種類	バックアップ-NXの対応	適している転送手段／メディア
「Internet Explorer」の「お気に入り」	○	LAN、FD
「Outlook Express」のアドレス帳や送受信データ	○	LAN、CD-R/DVD-R
デスクトップに置いてあるデータ	○	LAN、CD-R
マイドキュメントに保存してあるデータ	○	LAN、CD-R/DVD-R
「筆王」のデータ	○	LAN、CD-R
「Outlook Express」以外のメールソフトのアドレス帳や送受信データ	△	LAN、CD-R/DVD-R
ソフトで作成したデータ	△	LAN、CD-R
映像や音楽データ	△	LAN、CD-R/DVD-R
フリーウェアやシェアウェア	×	－
「Internet Explorer」の設定情報	×	－
Windowsの設定情報	×	－
ソフトの設定情報	×	－

○：移行可能　△：データを格納したフォルダを指定することで移行可能　×：移行不可

こんなデータはどうやって持っていくの？

持っていくと便利なデータとして次のものがあります。

・音楽や映像のデータ

データが格納されているフォルダを指定することで、バックアップ-NXでも持っていくことができますが、容量が非常に大きくなることがあります。DVD-Rなどの大容量メディアを使用したり、データを数枚に分けて持っていくなどの工夫が必要です。

・ダウンロードしたフリーウェアやシェアウェア

バックアップ-NXでは対応していないため、お客様がデータを個別に持っていく必要があります。

・「Internet Explorer」の設定情報

・Windowsの設定情報

・ソフトの設定情報

これらの内容はバックアップ-NXでは対応していないため、メモなどに書き写し、新しいパソコンで設定しなおす必要があります。

どんな方法で移行するの？

バックアップ-NXで使用できるデータの移行方法には次のものがあります。移行するデータの容量やお使いの環境に合わせて選びましょう。

LAN	大きな容量のデータも高速で移行できるが、これまでお使いのパソコンとこのパソコンが含まれるLAN環境があり、どちらかのパソコンの共有フォルダが利用できることが必要。
CD/DVD媒体	容量の大きなデータを移行できるが、これまでお使いのパソコンにCD-RドライブやDVD-Rドライブなど書き込み可能なドライブが必要。
フロッピーディスク	ちょっとしたデータを移行するには適しているが、大きな容量のデータを移行するには多くのフロッピーディスクが必要。また、フロッピーディスクが内蔵されていないパソコンでは、外付けのフロッピーディスクドライブが必要。

お使いのパソコンがLANでつながっていれば、ネットワーク経由でデータを移行するのがおすすめです。移行速度が一番速いので、大きな容量のデータも簡単に移行できます。また、CD-Rやフロッピーディスクなどの媒体も必要ありません。

移行する前に確認すること

これまでお使いのパソコンで使用していたOSを確認してください。
バックアップ-NXが対応しているOSのバージョンは次のとおりです。
・Windows XP Professional
・Windows XP Home Edition
・Windows 2000 Professional
・Windows Millennium Edition
・Windows 98
・Windows 98 Second Edition
・Windows 95 OSR2 + Internet Explorer 4.0以上

これまでお使いのパソコンのOSが上記以外の場合は、バックアップ-NXを使ってのデータの移行はできません。
また、PC-9800シリーズのパソコンでも、バックアップ-NXは使えません。

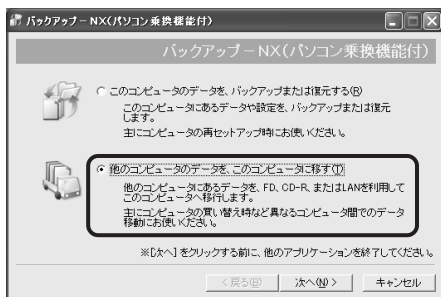
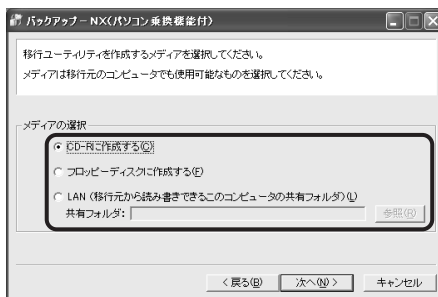
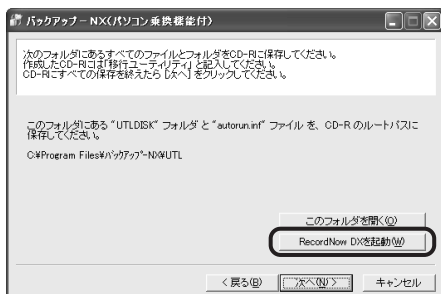
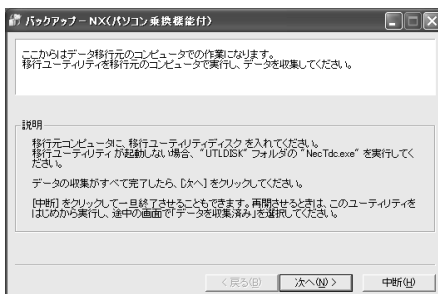
データを移行する

バックアップ-NXを使ったデータの移行の流れは、次のようになります。
1. 新しいパソコンで移行ユーティリティを作成する
2. 作成した移行ユーティリティを使って、古いパソコンで移行データを作成する
3. 新しいパソコンに移行データを持っていく

移行ユーティリティとは、これまでお使いのパソコンで移行データを作成するためのツールです。バックアップ-NXを使って、これまでお使いのパソコンで読み込めるメディアにて作成します。

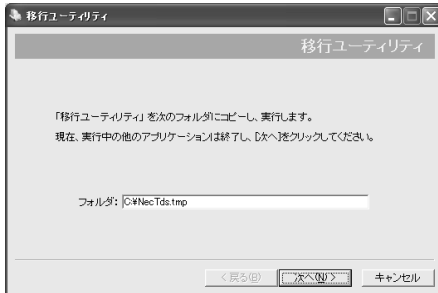
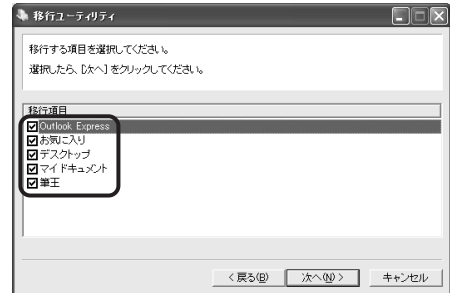
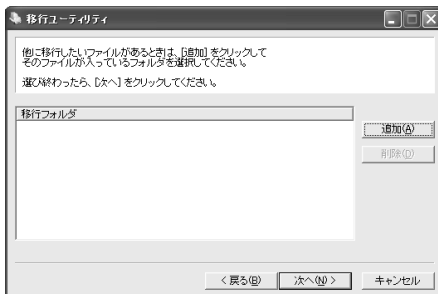
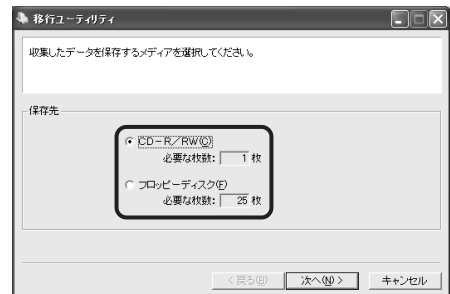
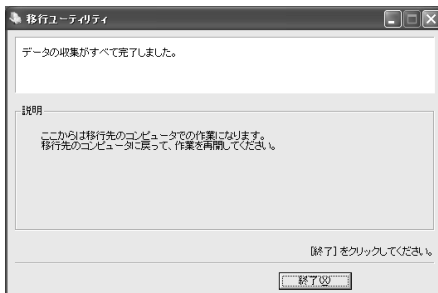
・バックアップ-NXの起動方法
「ソフトナビゲーター」-「名前で選ぶ」-「設定・サポート」-「トラブル防止・回避」-「バックアップ-NX」-「このソフトを使う」をクリック

新しいパソコンで移行ユーティリティを作成する

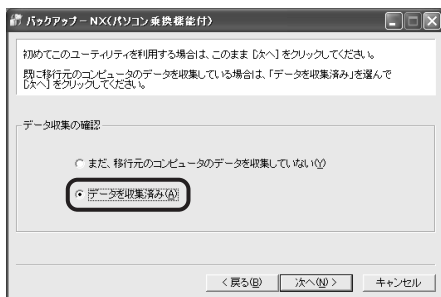
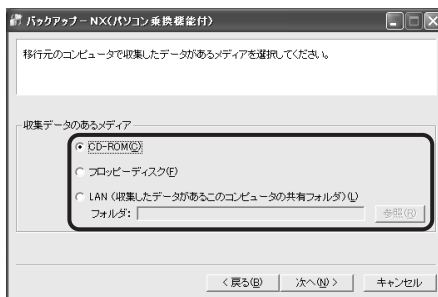
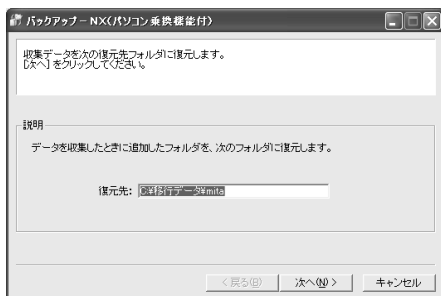
これまでお使いのパソコンで使用する移行ユーティリティを作成します。このパソコンでバックアップ-NXを起動し、画面の指示にしたがって操作してください。

「他のコンピュータのデータを、このコンピュータに移す」を選択して「次へ」をクリック

移行ユーティリティを作成するメディアを選択して「次へ」をクリック

CD-Rで作成する場合は、「RecordNow DX」を使ってデータをCD-Rに記録します

この画面が表示されたら、移行ユーティリティの作成作業は完成です。

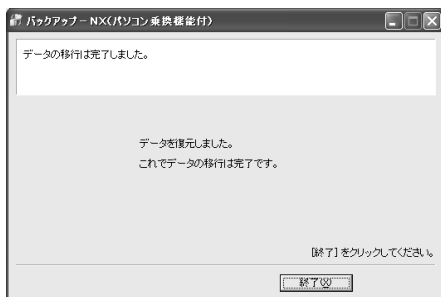
RecordNow DXを削除した場合は、「RecordNow DXを起動」ボタンは表示されません。
RecordNow DXの詳しい使い方については、電子マニュアル「ぱそガイド」-「アプリケーションの紹介と説明」-「50音別目次」をご覧ください。

古いパソコンで移行データを作成する

移行ユーティリティをこれまでお使いのパソコンで実行し、移行データを作成します。
画面の指示にしたがって操作してください。

画面の指示にしたがい「次へ」をクリック

移行するデータを選択して「次へ」をクリック

ほかに移行するデータがある場合は「追加」をクリックしてフォルダを選択します

移行データを記録するメディアを選択して「次へ」をクリック
LANを使って移行する場合は、「CD-R/RW」を選択してください

この画面が表示されたら、移行データの作成作業は完了です。

新しいパソコンに移行データを持っていく

これまでお使いのパソコンで作成した移行データを、このパソコンにコピーします。
このパソコンでバックアップ-NXを起動し、画面の指示にしたがって操作してください。

「データを移行済み」を選択して「次へ」をクリック

移行データのあるメディアを選択して「次へ」をクリック

移行データを復元するフォルダを指定して「次へ」をクリック

この画面が表示されたらデータの移行は完了です。

バックアップ-NXや移行ユーティリティの詳しい使い方については、「ぱそガイド」-「アプリケーションの紹介と説明」-「50音別目次」をご覧ください。

そのほかにWindows XPの「ファイルと設定の転送ウィザード」を使用する方法もあります。「ファイルと設定の転送ウィザード」では、Windowsのカスタマイズ情報や指定した拡張子のファイルなどを移行することもできます。

周辺機器を移行するには

ここでは、周辺機器を移行する方法について説明します。

移行する前に確認すること

・このパソコンのOSはWindows XPです。お使いの周辺機器には、Windows XPで使用できないものもあります。Windows XPで使用できるかどうかを周辺機器のマニュアルやメーカーのホームページなどで確認してください。
・本体に内蔵するタイプの機器（メモリや各種ボード類）も、このパソコンで使えるかを同じように確認してください。また、外付けの機器でもコネクタの形状が異なるなど使えないものもあります。

メーカーのホームページをチェック！

周辺機器のマニュアルにWindows XPへの対応について書かれていなくても、メーカーのホームページでWindows XPに対応したドライバがダウンロードできたり、Windows XPで使用するための設定方法を紹介していることがあります。メーカーのホームページをチェックしてみましょう。

周辺機器を移行する

周辺機器の移行の流れは、次のようになります。

1. これまでお使いのパソコンからの取り外し
2. このパソコンへの取り付け
3. このパソコンで使用するための設定をする

これまでお使いのパソコンからの取り外し

周辺機器のマニュアルや、これまでお使いのパソコンのマニュアルをご覧のうえ、これまでお使いのパソコンから周辺機器を取り外してください。

このパソコンへの取り付け

周辺機器のマニュアルや、このパソコンのマニュアルをご覧のうえ、このパソコンへ周辺機器を取り付けてください。
周辺機器によってはドライバやソフトウェアのインストールが必要な場合もあります。周辺機器のマニュアルやメーカーのホームページの情報を確認してください。

このパソコンで使用するための設定をする

周辺機器のマニュアルやメーカーのホームページをご覧のうえ、必要に応じて周辺機器の設定を行ってください。

動作確認は必ずしよう

周辺機器の引っ越しが完了したら、必ず動作確認をしてみましょう。うまく動かないときは、「よくあるトラブル」(p.89)をご覧ください。

ソフトを移行するには

ここでは、ソフトを移行する方法について説明します。

移行する前に確認すること

このパソコンのOSはWindows XPです。お使いのソフトには、Windows XPで使用できないものもあります。Windows XPで使用できるかどうかをソフトのマニュアルやメーカーのホームページなどで確認してください。

メーカーのホームページをチェック！

ソフトのマニュアルにWindows XPへの対応について書かれていなくても、メーカーのホームページでWindows XPに対応するためのプログラムなどを紹介している場合があります。メーカーのホームページをチェックしてみましょう。

ソフトを移行する

ソフトの移行の流れは、次のようになります。

1. 必要な情報を確認する
2. これまでお使いのパソコンからソフトをアンインストールする
3. このパソコンへソフトをインストールする
4. ソフトを使うための設定をする

必要な情報を確認する

ソフトのマニュアルをご覧のうえ、インストールに必要な情報を確認してください。ユーザー名やライセンス番号などの情報が必要な場合、それらの情報を確認し、必要に応じてメモを取っておいてください。
また、ソフトによっては、設定を移行するための機能があるものもあります。設定の移行ができるかどうかや移行の方法については、お使いのソフトのマニュアルやメーカーのホームページで確認してください。

これまでお使いのパソコンからソフトをアンインストールする

ソフトのマニュアルをご覧のうえ、これまでお使いのパソコンからソフトをアンインストールしてください。

アンインストールをする前に、必要な情報がそろっているかを確認してください。

ライセンスについて

ライセンスとは、ソフトのメーカーが購入者に対して許諾する、ソフトを使用する権利のことです。ライセンスの条件にしたがわずにソフトを使用した場合は不正使用となり、著作権の侵害になりますのでご注意ください。1ライセンスでインストールできるパソコンの台数はソフトにより異なります。ライセンスの内容をご確認のうえ不正使用にならないようにソフトのインストールやアンインストールを行ってください。

このパソコンへソフトをインストールする

ソフトのマニュアルをご覧のうえ、このパソコンへソフトをインストールしてください。必要に応じて「必要な情報を確認する」でメモした情報を入力してください。

ソフトを使うための設定をする

ソフトのマニュアルをご覧のうえ、設定を行ってください。必要に応じて「必要な情報を確認する」でメモした情報を入力してください。
設定を移行するための機能があるソフトの場合は、ここで設定を移行してください。

よくあるトラブル

ここでは、移行の際によくあるトラブルと、その対処方法について説明しています。

移行データを記録したCD/DVD媒体が新しいパソコンで読み込めない

CD/DVD媒体への書き込みが失敗している

移行データを記録したCD/DVD媒体をこれまでお使いのパソコンで読み込めるかどうかを確認してください。これまでお使いのパソコンでも読み込めない場合は、記録に失敗した可能性がありますので、もう一度記録しなおしてください。

このパソコンで読み込めない形式で記録している

CD/DVD媒体の記録形式を確認してください。記録形式によっては、このパソコンで読み込めない場合があります。

お使いのソフトのマニュアルや、このパソコンのマニュアルをご覧になり、読み込み可能な形式で記録してください。

移行したデータが開けない

データに対応しているソフトがインストールされていない

このパソコンに、対応しているソフトが入っているか確認してください。対応したソフトが入っていない場合は、ソフトをインストールしてください。

ソフトが新しいパソコンに対応していない

ソフトのバージョンを確認してください。このパソコンに対応していないバージョンの場合は、ソフトのバージョンアップが必要になる場合があります。詳しくはメーカーのホームページをご覧ください。ソフトによっては有償の場合や、プログラムのダウンロードが必要な場合もあります。

Q

移行したソフトのデータが見つからない

違う場所に保存されている

ソフトでデータを読み込む際に、最初に開く場所に保存されていない可能性があります。移行の際にどの場所に保存したのかを確認し、その場所を指定してデータを読み込むか、ソフトが使用する場所にデータを移動してください。

Q

周辺機器が動作しない

周辺機器のマニュアルをご覧のうえ、接続やドライバ、添付ソフトをもう一度確認してください。

周辺機器によっては、ホームページ上で最新のドライバが入手できる場合がありますので、周辺機器のメーカーのホームページもご覧ください。

『困ったときのQ&A』や、「ぱそガイド」-「トラブル解決」-「Step2 カテゴリー別Q&A」-「周辺機器」をご覧のうえ、記載の内容を確認してください。

索　引

ま行

ら行

わ行

やりたいことがすぐできる『快適パソコン生活Book』はこんな本！

せっかく買ったパソコン、
思いっきり楽しみたいと思いませんか？
そんなときに、この1冊。
カラフルな表紙が目印です。

我が家風パソコン使いこなし術

1台をみんなで使おう！

パソコンのセットアップが終わったら、まずは家族の登録から。
お父さん、お母さん、お姉ちゃんにぼく。
パソコンを使う家族全員を登録したら、まるでパソコンが家族分あるような感覚で使えます。

まずは家族の登録から

我が家にやってきた新しいパソコン。
さっそくみんなで使いたいけど、パソコンの使いかたはいろいろ。
お父さんは仕事、お母さんは家事、お姉ちゃんはメール、僕はゲームにと、みんなやりたいことがバラバラ。
ちょっとみんなの声を聞いてみると…

お父さん「出張の大事な資料、みんなのデータとは分けて管理したいなぁ」
お母さん「季節感のある素敵なデザインにしたいわ」
お姉ちゃん「友達とメールしたいけど、ほかの家族には見られたくないし…」
僕「みんなに遠慮しないで好きなだけ遊びたいよ！」

一人ひとりのこんな願いをかなえるには、家族で使うための設定が肝心。
最初に家族のメンバーを登録しておけば、そのあとはまるで家族の人数分のパソコンがあるような感覚でファミリーPCを楽しむことができるのです。

［家族の登録は8名まで］
このパソコンでは、最大8人までの家族の登録が可能。
また、ファミリーボタン※には、4名までの家族の登録ができます。
※：ファミリーボタン搭載モデルのみ

2

ユーザーの登録をする

「ファミリー環境設定ツール」を使えば、最高8人までの家族の登録ができる。
「制限ユーザ」「標準ユーザ」の人は自分では登録できないので、「管理ユーザ」の人に登録してもらおう。

1 「ソフトナビゲーター」の「名前で選ぶ」-「設定・サポート」-「設定」-「ファミリー環境設定ツール」-「このソフトを使う」をクリック。
まず、この画面で登録する人数を選ぼう。選んだら「次へ」をクリック。

2 一人ひとりの情報を設定する画面が表示される。

ユーザー情報の設定
ここをクリックすると、「ユーザ名」を登録・変更できます。
一番上には、パソコンをセットアップしたときに登録した「ユーザ名」が表示されています。

画像の設定
ここをクリックすると、Windowsのログオン画面やファミリーリングに表示される画像を選ぶことができます。

ファミリーボタンの設定
ファミリーボタン搭載モデルでは、ここをクリックするとファミリーボタンの割り当てを設定できます。

1 我が家風パソコン使いこなし術

3

家族で楽しむ便利ソフトあれこれ

パソコンで年賀状作り

パソコンとプリンタを使って、自分だけのオリジナル年賀状を作ろう。このパソコンに入っている「筆王」を使えば、かんたんに思い通りの年賀状が作れる。

準備するもの
●パソコンに入っているもの
・「筆王」
●別に用意するもの
・インクジェットプリンタ
・年賀はがき（インクジェット対応のものがベスト）

使う前の注意
ご購入時の状態で「筆王」はインストールされていません。「ソフトナビゲーター」の「名前で選ぶ」-「実用・生活」-「文書作成・データ管理」-「筆王」-「このソフトを使う」をクリックし、インストールをしてください。

1 プリンタとパソコンを接続して、印刷できる状態にする

2 「ソフトナビゲーター」の「名前で選ぶ」-「実用・生活」-「文書作成・データ管理」-「筆王」-「このソフトを使う」をクリックして「筆王」を起動。

［まずは、住所録の作成から］
「筆王」を起動すると、住所録ファイルを開く画面が表示される。住所録ファイルがまだないときは、住所録につける名前を入力して「開く」をクリックしよう。
2回目からは、作った住所録を選択して「開く」をクリックすれば、保存した住所録を編集できる。

30

基本的な操作

メニューウィンドウ
行いたい操作を選ぶ。

やりたいことをここから選ぶ。

3 差出人（自分）のデータを登録しよう
をクリックし、メニューウィンドウの「差出人の編集」をクリックして表示されるウィンドウに、自分の名前や住所を入力。

4 宛先を入力しよう
メニューウィンドウの「簡単カード追加ウィザード」をクリックし、画面のメッセージにしたがって宛先の種類や宛先の住所などを入力して、「完了」をクリック。
「もう1枚カードを追加する」をクリックすると、連続して宛先を登録していくことができる。

2 家族で楽しむ便利ソフトあれこれ

31

パソコンは料理とおなじ。
人によって、状況によって、素材や味付けの工夫ひとつで、パソコンの可能性はどんどん広がります。
この本では、失敗知らずのかんたんレシピから、ちょっとしたコツがいるアレンジメニューまで、バリエーション豊かに取りそろえています。

- 1台をみんなで使う
- パソコンで年賀状作り
- オリジナルCDを作る
- パソコンでアルバム作り
- DVD-Videoを作ろう
- ホームページを作る
- ブロードバンドで快適インターネット

このマニュアルは再生紙
（古紙率：表紙50%、本文100%）
を使用しています。

初版　2003年9月
NEC
P
853-810601-157-A
Printed in Japan